

Panasonic®

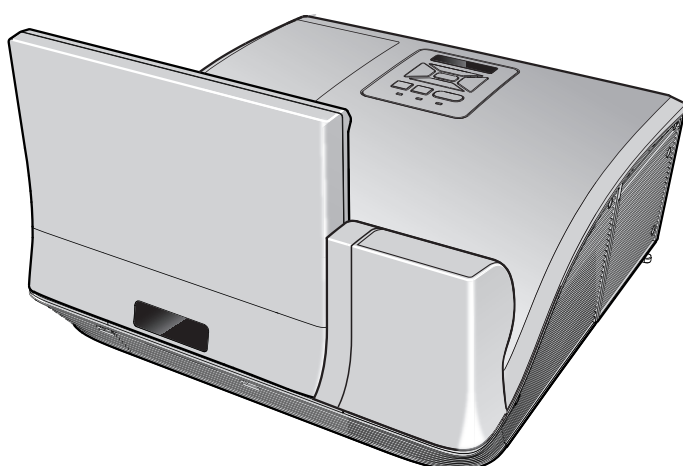
取扱説明書

詳細編

DLP® プロジェクター

業務用

品番 PT-CW331R
PT-CX301R



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 本書は、2014 年 7 月以降に生産された製品の取扱説明書です。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用の前に『安全上のご注意』（👁 6 ～ 10 ページ）を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

JAPANESE

TQBH0304-1

商標について

- Windows®、Windows Vista®、Internet Explorer® は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh と Mac、Mac OS、OS X、Safari は、米国およびほかの国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。



- PLink 商標は、日本、米国その他の国や地域における登録または出願商標です。
 - RoomView、Crestron RoomView は、Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。Crestron Connected は Crestron Electronics, Inc. の商標です。
 - Linux は、米国および他の国において Linus Torvalds が所有する商標です。
 - その他、この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
- なお、本文中では®や TM マークは明記していません。

本書内のイラストについて

- プロジェクター本体、画面などのイラストは、実際とは異なることがあります。

参照ページについて

- 本書では、参照ページを（ 00 ページ）のように示しています。

用語について

- 本書では付属品の「ワイヤレスリモコン」を「リモコン」と記載しています。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

本機の特長

3D 対応ブルーレイディスク プレーヤーと接続可能

- ▶ 本機は 3D 映像に対応し、3D グラスを使用して 3D 映像を視聴することができます。当社 ディーガ との接続が可能で、アミューズメント施設や展示会などにも活用できます。

短い投写距離で大画面

- ▶ プロジェクターとスクリーンの距離が近くても大画面で投写することができます。画面の前にプレゼンターが立っても、画面に影が映り込まず、また目に光が入りません。

教室で十分な明るさ

- ▶ 明るさ 3100 lm で教室などの教育現場でも明るく見やすい投写ができます。

インタラクティブ機能

- ▶ 本機にインタラクティブソフトウェアを付属し、インタラクティブペンを使用して、投写画面へ文字や図形の書き込みができます。

投写するまでの手順

詳しくは各ページをご覧ください。

1. 本機を設置する
(👉 22 ページ)



2. 本機と外部機器を接続する
(👉 27 ページ)



3. 電源コードを接続する
(👉 30 ページ)



4. 電源を入れる
(👉 32 ページ)



5. 投写する映像を選択する
(👉 33 ページ)



6. 映像の映り具合を調整する
(👉 33 ページ)

安全上のご注意

安全上のご注意	6
---------------	---

はじめに

ご使用になる前に	11
----------------	----

本機の運搬について	11
本機の設置について	11
セキュリティに関するお願い	12
廃棄について	12
本機の取り扱いについて	12
付属品の確認	14
別売品	15

各部の名称とはたらき	16
------------------	----

リモコン	16
本体	17
本体操作部	18
接続端子部	19

リモコンの使い方	20
----------------	----

電池を入れる、取り出す	20
リモコンのコントローラー ID を指定する	20

インタラクティブペンの使い方	21
----------------------	----

各部の名称	21
電池を入れる、取り出す	21
使用方法	21

準備

設置する	22
------------	----

投写方式	22
設置オプションについて (別売品)	22
投写関係	23
アジャスター脚の調整	26
フォーカスの調整	26

接続する	27
------------	----

接続の前に	27
コンピューターとの接続例	28
映像機器との接続例	29

基本的な使い方

電源を入れる / 切る	30
-------------------	----

電源コードを接続する	30
〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケーターについて ..	31
電源を入れる	32
電源を切る	32

投写する	33
------------	----

映像の映り具合を調整する	33
投写する映像を選択する	33

3D 映像を視聴する	34
------------------	----

3D 映像の視聴について	34
--------------------	----

リモコンで操作する	35
-----------------	----

入力信号を切り換える	35
〈3D〉ボタン	35
〈FREEZE〉ボタン	35
〈KEystone〉ボタン	35
〈IMAGE〉ボタン	35
〈INPUT〉ボタン	36
〈MENU〉ボタン	36
〈AUTO ADJ.〉ボタン	36
〈MUTE〉ボタン	36
〈ASPECT〉ボタン	36
〈AV MUTE〉ボタン	36
〈VOLUME〉ボタン	36

調整と設定

オンスクリーンメニューについて	37
-----------------------	----

メニュー画面の操作方法	37
メニューツリー	38

[ピクチャー] について	40
----------------------	----

ピクチャーモード	40
壁の色	40
明るさ	40
コントラスト	40
シャープネス	40
色の濃さ	41
色合い	41
ガンマ	41
色温度	41
カラースペース	41

[位置調整] について	42
---------------------	----

アスペクト	42
位相	42
クロック周波数	42
水平位置	42
垂直位置	42
デジタルズーム	42
垂直キーストーン	43
投写方式	43

[設定] について	44
-------------------	----

言語	44
メニュー位置	44

クローズドキャプション	44
VGA Out (スタンバイ)	44
LAN (スタンバイ)	44
テストパターン	44
コントローラー ID	45
スタートアップロゴ	45
リセット	45
[音声] について	46
消音	46
ボリューム	46
スタンバイ時動作 (音声)	46
[オプション] について	47
自動ソース	47
入力	47
自動電源オフ (分)	47
ランプ設定	47
ダイナミックブラック	48
高度	48
フィルター通知	48
情報	48
[3D] について	49
3D	49
3D 反転	49
3D 映像フォーマット	49
1080p@24	50
3D 安全注意メッセージ	50
3D 視聴に関するお願い	50
[LAN] について	51
DHCP	51
IP アドレス	51
サブネットマスク	51
ゲートウェイ	51
DNS	51
保存	52
リセット	52
ネットワーク接続	53
コンピューターのネットワーク設定	54
WEB ブラウザーで操作する	54

点検と部品交換

インジケータの表示について	58
インジケータが点灯したら	58
お手入れ / 部品交換	59
お手入れ / 部品交換の前に	59
お手入れ	59
部品交換	61

故障かな !?	64
----------------------	-----------

その他

付録	67
シリアル端子について	67
その他の端子について	70
PJLink プロトコルを使用する	71
対応信号リスト	72
3D 対応信号リスト	73
仕様	74
外形寸法図	76
天つり金具類取り付け時の注意事項	76
保証とアフターサービス	77
保証書 (別添付)	77
補修用性能部品の保有期間	77
修理を依頼されるとき	77
さくいん	78

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

				してはいけない内容です。
		実行しなければならない内容です。		

警告

電源について

異常・故障時には直ちに使用を中止する

	電源プラグを抜く	■ 異常があったときは、電源プラグを抜く 〔内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音が発生したとき〕 （そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。） ⇒ 異常の際、電源プラグをすぐに抜けるように、コンセントを本機の近くに取り付けるか、配線用遮断装置を容易に手が届く位置に設置してください。 ⇒ 本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。 ⇒ お買い上げの販売店にご相談ください。
		■ 電源プラグ（コンセント側）や、電源コネクター（本体側）は、根元まで確実に差し込む （差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。） ⇒ 傷んだプラグやゆるんだコンセントのまま使用しないでください。
		■ 電源プラグのほこりなどは、定期的にとる （プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災や感電の原因になります。） ⇒ 半年に一度は電源プラグを抜いて、乾いた布で拭いてください。 ⇒ 長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
		■ 電源コード・プラグが破損するようなことはしない 〔傷つける、加工する、高温部や熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど〕 （傷んだまま使用すると、火災や感電、ショートの原因になります。） ⇒ 電源コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。
		■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない （たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。）
		■ 付属の電源コード以外は使用しない （付属の電源コードを使わないと感電の原因になります。）
	ぬれ手禁止	■ ぬれた手で電源プラグや電源コネクターに触れない （感電の原因になります。）
	接触禁止	■ 雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れない （感電の原因になります。）



警告 (つづき)

ご使用・設置について



■ 放熱を妨げない

〔布や紙などの上に置かない（吸気口に吸着する場合があります）、風通しが悪く狭い所に押し込めない〕

（内部が高温になり、火災の原因になることがあります。）

⇒ 吸排気を妨げないよう、周辺の壁やものから排気口までは 1 m 以上、吸気口までは 50cm 以上離して設置してください。

■ 排気口には手やものを近づけない

〔手や顔を近づけない、指を入れない、熱に弱いものを近くに置かない〕

（排気口からは熱風がでているため、やけどやけが、変形の原因になります。）

■ カーペット・スポンジマット・毛布などのやわらかい面の上で本機を使用しない

（内部に熱がこもり、本機の故障、火災ややけどの原因になることがあります。）

■ 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かない

（火災や感電の原因になることがあります。また、油により樹脂が劣化し、天つり設置の場合に落下するおそれがあります。）

■ 荷重に耐えられない場所や不安定な場所に設置しない

（落下などによる本機の破損・変形や、大きな事故やけがの原因になります。）

■ 使用中はレンズやミラーをのぞかない

（レンズからは強い光がでます。投写光を見ると、目を痛める原因になります。）

⇒ 使用中に本機から離れる場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。

⇒ 特にお子様にはご注意ください。

■ 内部に金属類や燃えやすいものなどを入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

（ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。）

⇒ 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。

⇒ 水などの液体が内部に入ったときは、販売店にご相談ください。

⇒ 特にお子様にはご注意ください。



分解禁止

■ 分解や改造をしない

（内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。）

また、使用機器の故障の原因になります。）

⇒ 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。



警告



高圧注意

サービスマン以外の方はケースをあげないでください。内部には高電圧部分が多くあり、万一さわると危険です。

「本体に表示した事項」



■ 天井取り付け（天つり）・壁掛けなどの設置工事は、専門の技術者または販売店に依頼する（工事の不備により、落下事故の原因となります。）

■ 当社で指定した天つり金具・壁掛取付金具を使用する

（当社指定以外の天つり金具・壁掛取付金具の不備により、落下事故の原因となることがあります。）

⇒ 当社指定の天つり金具・壁掛取付金具をご利用の際は、天つり金具（取付け用ベース金具）・壁掛取付金具に付属のワイヤーで落下防止の処置を行ってください。



警告 (つづき)

付属品・消耗品について

 電源プラグを抜く	■ ランプユニットなどの部品交換を行う前に、必ず電源プラグをコンセントから抜く (電源プラグを抜かずに交換作業を行うと、感電や破裂の原因になります。)
 分解禁止	■ ランプユニットを分解しない (ランプ部が破裂すると、けがの原因になります。) ■ ランプユニット交換の際は、指定のねじ以外は外さない (感電・やけど・けがの原因となります。)
	■ 電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらない [液が目に入ったら目をこすらない] (失明のおそれや、液が身体や衣服に付着した場合、皮膚の炎症やけがの原因になります。) ⇒ すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。 ■ コイン電池は誤った使い方をしない ● 指定された電池 (リチウムコイン電池 CR2025 型) 以外は使用しない ● 加熱・分解したり水などの液体や火の中へ入れたりしない ● +と-を針金などで接続しない ● +と-を逆に入れない ● ネックレスやヘアピンなど金属が使用されているものと一緒に持ち運んだり保管したりしない (液漏れ・発熱・破裂・発火の原因になります。) ■ インタラクティブペンの電池は誤った使い方をしない ● 指定された電池以外は使用しない ● 乾電池は充電しない ● 加熱・分解したり水などの液体や火の中へ入れたりしない ● +と-を針金などで接続しない ● +と-を逆に入れない ● ネックレスやヘアピンなど金属が使用されているものと一緒に持ち運んだり保管したりしない ● 新旧の電池や違う種類の電池を混ぜて使わない ● アルカリ乾電池またはマンガン乾電池以外は使用しない ● 被覆のはがれた電池は使わない (電池には安全のために被覆がかぶせてあります。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください) (液漏れ・発熱・破裂・発火の原因になります。) ■ 付属の電源コードは、本機以外の機器では使用しない (付属の電源コードを本機以外の機器で使用すると、ショートや発熱により、感電・火災の原因になることがあります。) ■ 付属の電池 (コイン電池、単 4 形電池) は乳幼児の手の届く所に置かない (誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。) ⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。
	■ ランプユニットの交換は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行う (ランプの点灯中は紫外線を発生しています。) ⇒ 正しい手順で交換を行ってください。 ■ ランプユニットの交換は、電源を切り、ランプが冷えてから (1 時間以上待ってから) 行う (カバー内部は高温になっているため、やけどの原因になります。) ■ 使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す (そのまま機器の中に放置すると、電池の液漏れや、発熱・破裂の原因になります。)



注意

電源について

 電源プラグを抜く	■ 長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く (電源プラグにほこりがたまり、火災・感電の原因になることがあります。)
	■ お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く (感電の原因になることがあります。)
	■ 電源コードを取り外すときは、必ず電源プラグ、電源コネクターを持って抜く (コードを引っ張るとコードが破損し、感電・ショートによる火災の原因になることがあります。)

ご使用・設置について

	■ 本機の上に重いものを載せたり、乗ったりしない (バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。また、本機の破損や変形の原因になることがあります。)
	■ 異常に温度が高くなる所に置かない (外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。) ⇒ 直射日光の当たる所や、熱器具などの近くには、設置・保管をしないでください。
	■ ミラーには強い力や衝撃を加えない (ガラス製ですので、破損により、けがの原因になることがあります。)
	■ 移動させる場合は、必ず接続線を外す (コードの破損などにより、火災や感電の原因になることがあります。)
	■ 天つりする場合は、取り付けねじや電源コードが天井内部の金属部と接触しないように設置する (天井内部の金属部と接触して、感電の原因になることがあります。)

付属品・消耗品について

	■ ランプが破裂したときは、さわったり、顔を近づけたりしない (散乱したガラス片で、けがをしたり、破裂により発生したガスを吸い込んでしまったりするおそれがあります。) ⇒ 直ちに換気を行ってください。万が一吸い込んだり、目や口に入ったりした場合は、直ちに医師にご相談ください。 ⇒ 破裂により発生したガスは、蛍光灯程度の水銀を含有しています。 ⇒ 販売店にランプの交換と内部の点検をご依頼ください。
	■ 古いランプユニットは使用しない 【使用時間を越えたランプユニットは使用しない】 (そのまま使用を続けると、破裂する場合があります。) ⇒ ランプユニットは消耗部品です。
	■ 乾燥剤は、袋を開けたり、食べたり、水気のある所に捨てたりしない (中身を誤って口に入れると、身体に悪影響を及ぼします。また、水分に反応して発熱しますので、中身が身体や衣服に付着した場合、皮膚の炎症やけがの原因になります。) ⇒ 万一、目や口に入った場合、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。 ⇒ 特にお子様にはご注意ください。
	■ 長期間使用しない場合は、リモコンから電池を取り出す (電池の液漏れ、発熱、発火、破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。)

お手入れについて

	■ 1年に1度は、内部の清掃を販売店に依頼する (本機の内部にほこりがたまったまま使用を続けると、火災の原因になることがあります。) ⇒ 特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。 ⇒ 内部清掃費用については販売店にご相談ください。
---	--

3D 映像の視聴について



■ 光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は 3D 映像を視聴しない
(病状悪化の原因になることがあります。)



■ 3D の映像を視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止する
(そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。)
⇒ 適度な休憩をとってください。

■ 3D 映画などを見る場合は 1 作品の視聴を目安に適度に休憩をとる

■ 3D ゲームやパソコンなどの双方向にやり取りできる機器の 3D 映像を見る場合は、30 ～ 60 分を目安に適度に休憩をとる
(長時間の視聴による目の疲れの原因になることがあります。)

■ コンテンツを用意する場合、3D 用として適切に制作されたコンテンツを使用する
(目の疲れや体調不良の原因となる場合があります。)

■ 3D の映像を視聴中は、周囲の人や物に注意する

(3D 映像を実際の物に間違えて、周囲の人や物に接触し、けがや破損の原因となる場合があります。)

■ 3D の映像を見るときは 3D グラスを使用する

■ 3D の映像を視聴するときは両目を水平に近い状態にして視聴する

■ 近視や遠視の方、左右の視力が異なる方や乱視の方は視力矯正メガネの装着などにより、視力を適切に矯正したうえで 3D グラスを使用する

■ 3D 映像を視聴中に、はっきりと 2 重に像が見えたら視聴を中止する
(長時間の視聴による目の疲れの原因になることがあります。)

■ 画面の有効高さの 3 倍以上の視距離で見る

(推奨距離より近距離でのご使用は目の疲れの原因になることがあります。映画のように上下に黒帯がある場合は、映像部分の高さに対して 3 倍以上の視距離でご覧ください。)

■ 3D の映像の視聴年齢については、およそ 5 ～ 6 歳以上を目安にする

(お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなる場合があります。)

⇒ お子様が見るときは、目が疲れていないか、保護者の方ご注意ください。

ご使用になる前に

本機の運搬について

- 持ち運びの際は、ミラーに触れないようにお取り扱いください。
- 運搬の際は、本機の底面を持つようにし、過度の振動や衝撃を加えないようにお取り扱いください。内部の部品が傷み、故障の原因になります。
- アジャスター脚を伸ばした状態で運搬しないでください。アジャスター脚が破損するおそれがあります。

本機の設置について

■ 屋外に設置しないでください

本機は、屋内で使用することを前提に設計されています。

■ 以下の場所には設置しないでください

- 車両・船舶・航空機など、振動や衝撃が加わる場所：内部の部品が傷み、故障の原因になります。
- エアコンの吹き出し口の近く：使用環境によっては、排気口からの熱せられた空気や、空調からの温風・冷風の影響で、まれに画面に「ゆらぎ」が発生する場合があります。本機の前面に自機、あるいは他機の排気や、空調からの風が回り込むような設置がないように注意してください。
- 照明器具（スタジオ用ランプなど）の近くなどの温度変化が激しい場所（『使用環境条件』（ 75 ページ））：ランプの寿命などに影響を及ぼすおそれや、熱により本体が変形し、故障の原因になることがあります。
- 高圧電線や動力源の近く：妨害を受ける場合があります。
- 高出力のレーザー機器がある場所：レーザー光がレンズ面に入ると DLP チップの故障の原因になります。

■ 本機を天井または壁に取り付ける場合は、必ず専門の技術者、または販売店にご依頼ください

別売品の天つり金具または壁掛取付金具が必要です。

品番：ET-PKV100H（高天井用）、ET-PKV100S（低天井用）、
ET-PKC200B（取付け用ベース金具）、ET-PKC200W（壁掛取付金具）

■ レンズフォーカスに関して

高輝度プロジェクターのレンズは、光源からの光による熱の影響で、電源を入れた直後はフォーカスが安定しません。レンズフォーカスの調整は、映像を映した状態で 30 分以上待ってから行ってください。

■ 海拔 1 000 m 未満でご使用の際は、[高度] を必ず [オフ] に設定してください

部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

■ 海拔 1 000 m 以上 3 000 m 未満でご使用の際は、[高度] を必ず [オン] に設定してください

部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

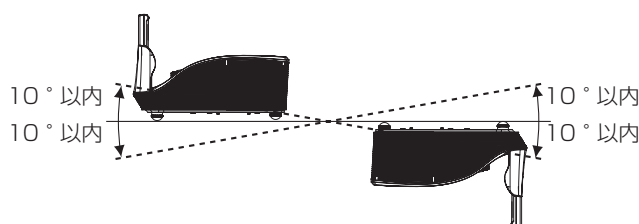
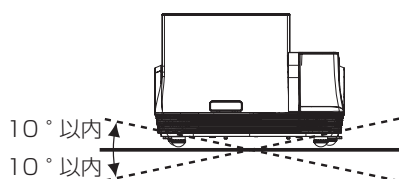
■ 海拔 3 000 m 以上の場所に設置しないでください

部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

■ 使用環境温度の仕様を確認して設置してください（『使用環境条件』（ 75 ページ））

■ 本機を立てたり、左右に傾けて使用しないでください

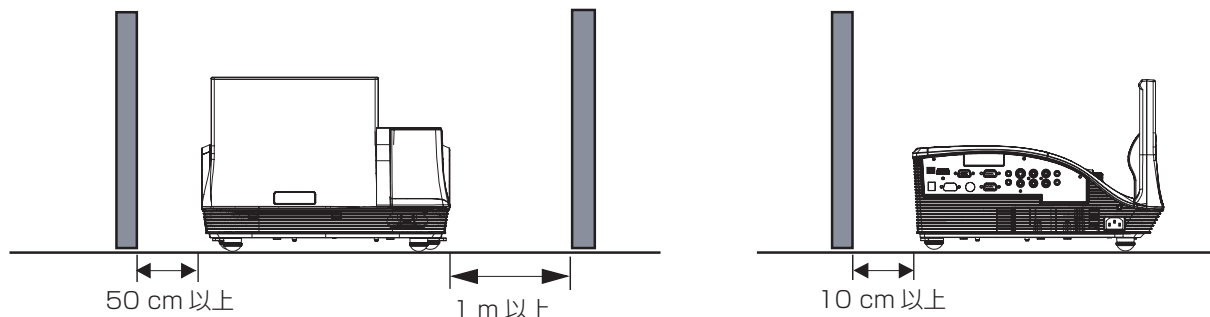
本機を上下左右方向に 10° 以上傾けて使用しないでください。部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。



ご使用になる前に (つづき)

■ 設置上のご注意

- 本機を積み重ねて使用しないでください。
- 本機の吸気口・排気口をふさがないでください。
- 空調の冷風や温風が、本機の吸気口・排気口に直接当たらないように設置をしてください。



- 本機を囲われた空間に設置しないでください。
囲われた空間に設置が必要な場合は、別途空調設備、換気設備を入れてください。換気が不十分な場合、排気熱が滞留することで、本機の保護回路がはたらくことがあります。

セキュリティに関するお願い

本製品をご使用になる場合、下記のような被害を受ける場合が想定されます。

- 本製品を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい。
- 悪意の第三者による本製品の不正操作。
- 悪意の第三者による本製品の妨害や停止。

セキュリティ対策を十分に行ってください。(P.56 ページ)

- パスワードはできるだけ推測されにくいものにしてください。
- パスワードは定期的に変更してください。
- パナソニック株式会社およびその関係会社が、お客様に対して直接パスワードを照会することはありません。直接問い合わせが有っても、パスワードを答えないでください。
- ファイアウォールなどにより、安全性の確保されたネットワークでご使用ください。
- “Web 管理” の管理者パスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限してください。

廃棄について

製品を廃棄する際は、最寄りの市町村窓口または販売店に、正しい廃棄方法をお問い合わせください。
ランプには水銀が含まれています。取り外した古いランプユニットを廃棄する場合は、最寄りの市町村窓口、または販売店に正しい廃棄方法をお問い合わせください。

本機の取り扱いについて

■ 美しい映像をご覧いただくために

- スクリーン面に外光や照明などの光が入らないよう、窓のカーテンやブラインドなどを閉め、スクリーン面近くの照明を消すなどの環境を整えていただくと、より高いコントラストで美しい映像をご覧いただけます。
- 使用環境によっては排気口からの熱せられた空気や、空調からの温風・冷風の影響で、まれに画面に「ゆらぎ」が発生する場合があります。
本体の近くに自機、あるいは他機の排気や、空調からの風が回り込むような設置がないように注意してください。
- プロジェクターのレンズは、光源からの光による熱の影響で、電源を入れた直後はフォーカスが安定しない場合があります。映像を映した状態で 30 分以上経過すると、フォーカスが安定します。

■ミラーや投写レンズの表面は素手でさわらないでください

ミラーや投写レンズの表面に指紋や汚れが付着すると、それらが拡大されてスクリーンに映り、美しい映像をご覧いただくための妨げとなります。

■DLP チップについて

- DLP チップは、非常に精密度の高い技術で製造されていますが、まれに画素の欠けや、常時点灯する画素が発生する場合があります。これらの現象は故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 高出力のレーザー光がレンズ面に入ると DLP チップの故障の原因になりますので注意してください。

■光学部品について

ご使用になる環境温度が高い場合や、ほこり、タバコなどの煙が多い環境下では、1 年未満のご使用でも、光学部品の交換サイクルが短くなる場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店へご相談ください。

■ランプについて

本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。
高圧水銀ランプには下記の特性があります。

- 使用時間にともない、ランプの輝度が低下します。
- 衝撃や傷、使用時間による劣化などにより大きな音を出して破裂したり、寿命が尽きたりすることがあります。
- 個体差や使用条件によって、寿命に大きなばらつきがあります。特に 22 時間以上の連続使用や、頻繁な電源の「切」/「入」の繰り返しは、ランプの劣化を早め、寿命に大きく影響します。
- ごくまれに、投写開始後まもなく破裂することがあります。
- 交換時期を超えると破裂の可能性が高くなります。交換時期がきたらランプユニットを交換してください。（『ランプユニットの交換時期』 62 ページ）
- 破裂すると、内部のガスが噴出し、煙のように見えることがあります。
- 万一来るに備え、あらかじめ交換用ランプをご用意ください。
- ランプユニットの交換は、専門の技術者にご依頼することをお勧めします。販売店にご相談ください。

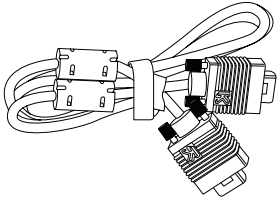
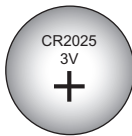
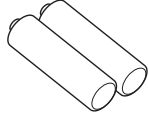
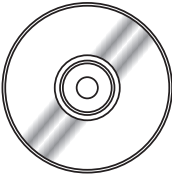
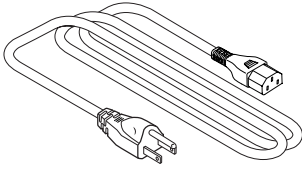
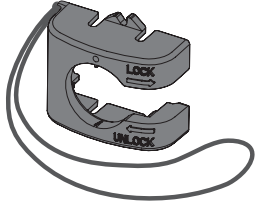
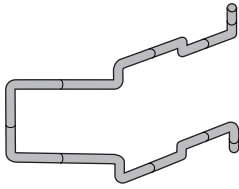
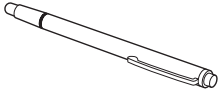
■コンピューターや周辺機器との接続について

コンピューターや外部機器に接続する際、各々の機器に付属の電源コードとシールドされた市販のケーブルを使用してください。

ご使用になる前に (つづき)

付属品の確認

以下の付属品が入っていることを確認してください。〈〉は個数です。

ワイヤレスリモコン 〈1〉 (H458SZ01G001)	コンピューターケーブル 〈1〉 (H4200200G005)	リチウムコイン電池 CR2025 型 〈1〉	単4形電池 〈4〉
		 (お買い上げ時は、リモコン に装着されています。)	 (インタラクティブペン用)
CD-ROM 〈2〉 (H368TA01G001) (H368TA13G001)	電源コード 〈1〉 (H420014CG001)	電源コードカバー 〈1〉 (H758SZ02G001)	電源コードホルダー 〈1〉 (H618SZ09H001)
			
インタラクティブペン 〈2〉 (ET-PEN100)	インタラクティブ USB ケーブル 〈1〉 (H420028HG031)		
			

お願い

電源コードキャップおよび包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理してください。

- 付属品を紛失してしまった場合、販売店にご相談ください。
- 付属品や別売品などの品番は、予告なく変更する可能性があります。
- 小物部品については乳幼児の手の届かない所に適切に保管してください。

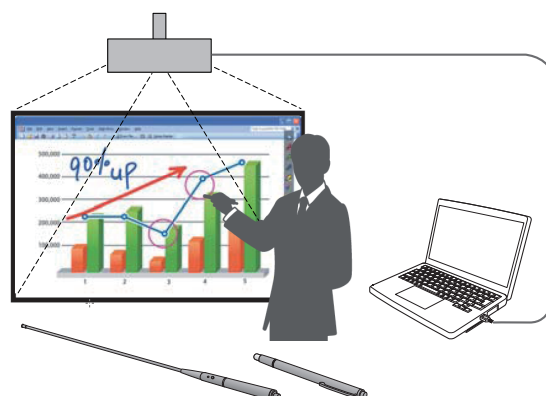
■ CD-ROM の内容について

付属品の CD-ROM には、以下の内容が収録されています。

	説明書 (PDF)	ソフトウェア
一枚目	● 取扱説明書 詳細編	● なし
二枚目	● 取扱説明書 LightPen3 ソフトウェア	● LightPen3 ソフトウェア (Windows / Mac OS) ・インタラクティブペンを使い、投写画面上で描画するソフトウェアです。 ● SPDriver (Windows / Mac OS / Linux)

■ インタラクティブ機能について

本機のインタラクティブ機能の操作については、付属品のCD-ROMの「取扱説明書 - LightPen3」をご覧ください。

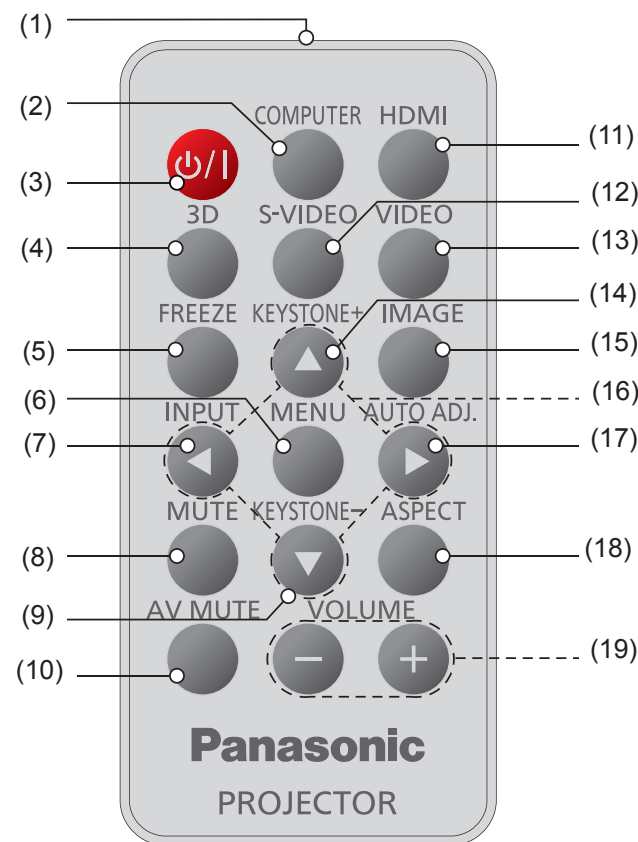


別売品

別売品 (品名)	品番
交換用ランプユニット	ET-LAC300 (PT-CW331R, PT-CX301R 用)
天つり金具	ET-PKV100H (高天井用) ET-PKV100S (低天井用)
天つり金具 (取付け用ベース金具)	ET-PKC200B
壁掛取付金具	ET-PKC200W
インタラクティブペン	ET-PEN100
インタラクティブポインター	ET-PNT100

各部の名称とはたらき

リモコン



- (1) **リモコン発信部**
- (2) **〈COMPUTER〉ボタン**
COMPUTER 1 入力または COMPUTER 2 入力に切り換えます。すでにいずれかの入力を選択されている場合は、もう一方の入力に切り換えます。
- (3) **〈3D〉ボタン**
[3D] メニュー画面を表示します。
- (4) **〈FREEZE〉ボタン**
映像を一時的に静止し、音声を消します。もう一度押すと解除します。
- (5) **〈MENU〉ボタン**
メインメニューを表示したり、消したりします。
- (6) **〈INPUT〉ボタン**
[入力]メニュー画面を表示します。(参照 33 ページ)
- (7) **〈MUTE〉ボタン**
音声を一時的に消します。もう一度押すと解除します。
- (8) **〈KEYSTONE ->〉ボタン**
台形ひずみを補正します。
- (9) **〈AV MUTE〉ボタン**
映像と音声を一時的に消します。もう一度押すと解除します。

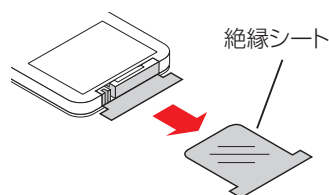
- (11) **〈HDMI〉ボタン**
HDMI 入力に切り換えます。
- (12) **〈S-VIDEO〉ボタン**
S ビデオ入力に切り換えます。
- (13) **〈VIDEO〉ボタン**
ビデオ入力に切り換えます。
- (14) **〈KEYSTONE +〉ボタン**
台形ひずみを補正します。
- (15) **〈IMAGE〉ボタン**
[ピクチャーモード] を選択します。
- (16) **▲▼◀▶ ボタン**
メニュー画面の操作に使用します。
- (17) **〈AUTO ADJ.〉ボタン**
コンピューター信号入力時、画像を最適な状態に調整します。
- (18) **〈ASPECT〉ボタン**
スクリーンの [アスペクト] を選択します。
- (19) **〈VOLUME +/-〉ボタン**
スピーカーの音量を調整します。

お願い

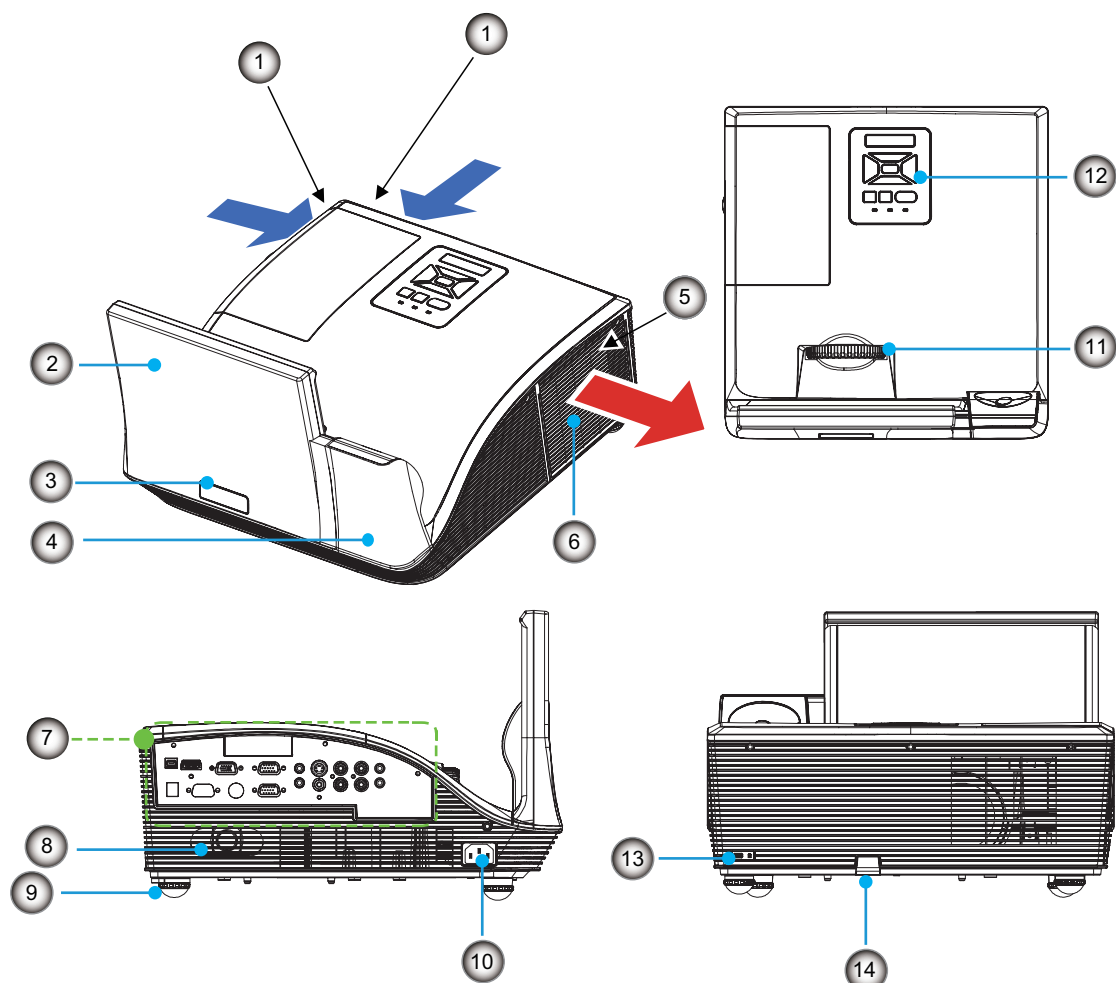
- リモコンは落とさないようにしてください。
- リモコンに液状のものをかけないでください。
- リモコンを分解・修理しないでください。

お知らせ

- 受信している信号の種類や画像によっては〈AUTO ADJ.〉を実行しても映像の位置や解像度が正しく表示されない場合があります。正しく表示されない場合は表示映像を変えて再度〈AUTO ADJ.〉を実行してください。
- リモコンを直接本体のリモコン受信部に向けて操作する場合は、リモコン受信部正面より約 8 m 以内で操作してください。また、上下左右に± 35°まで操作可能ですが、操作可能距離が短くなる場合があります。
- リモコンとリモコン受信部の間に障害物があると、正しく動作しない場合があります。
- リモコンからの信号をスクリーンに反射させて本機を操作することができますが、スクリーン特性による光反射ロスにより、操作有効範囲が制限される場合があります。
- リモコン受信部に蛍光灯などの強い光が当たると、操作できなくなる場合があります。できるだけ光源から離して設置してください。
- すべての操作を行うにはリモコンが必要となりますので、なくさないようにしてください。
- お買い上げ後初めてリモコンを使用される場合、絶縁シートを引き抜いてからご使用ください。



本体



- (1) 吸気口
- (2) ミラーカバー
- (3) リモコン受信部
- (4) インタラクティブカメラ
- (5) 排気口

- (9) アジャスター脚
設置姿勢を調整します。
- (10) AC 入力端子
- (11) フォーカスリング
フォーカスを調整します。
- (12) 本体操作部 / インジケーター (☞ 18 ページ)
- (13) セキュリティー slots

このセキュリティー slots は、Kensington 社製セキュリティーケーブルに対応しています。Kensington 社製セキュリティーケーブルについてのお問い合わせ先は、下記のとおりです。

七陽商事株式会社 情報機器事業部

〒103-0007

東京都中央区日本橋浜町 2-55-7 ナナヨービル

Tel : 03-3663-7740

Fax : 03-3669-2367

<http://www.nanayojapan.co.jp/>

● 連絡先は変更される場合があります。ご了承ください。

- (6) ランプカバー (☞ 63 ページ)
- (7) 接続端子部 (☞ 19 ページ)
- (8) スピーカー

- (14) セキュリティーバー
盗難防止用にワイヤーなどを取り付けることができます。

警告

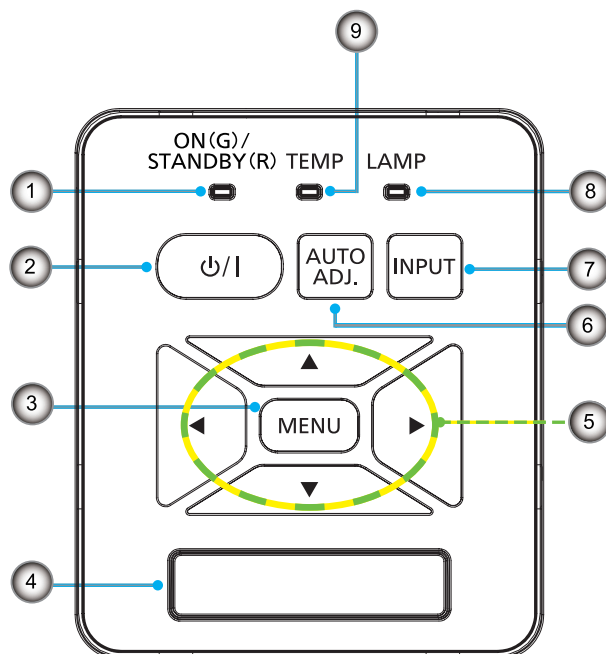
■ 排気口には手やものを近づけない



- 手や顔を近づけない。
- 指を入れない。
- 熱に弱いものを近くに置かない。

排気口からは熱風がでているため、やけど・けが・変形の原因になります。

本体操作部

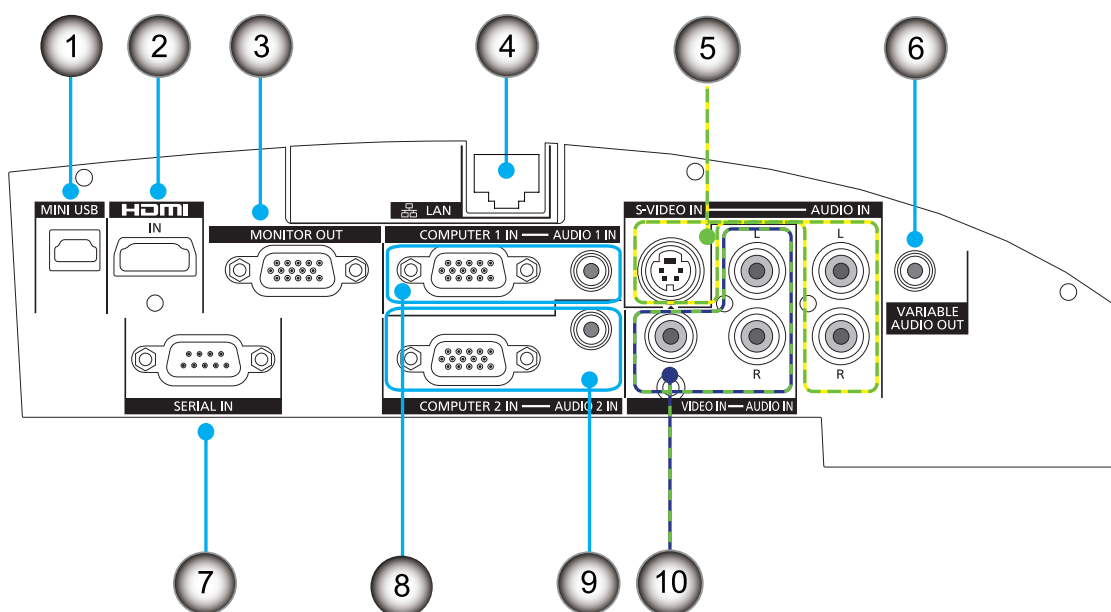


- | | |
|--|--|
| <p>(1) 〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケーター
電源の状態を表示します。</p> <p>(2) 〈 / I〉ボタン
電源を「切」 / 「入」します。</p> <p>(3) 〈MENU〉ボタン
メインメニューを表示したり、消したりします。</p> <p>(4) リモコン受信部</p> <p>(5) ボタン
メニュー画面の操作に使用します。</p> <p>(6) 〈AUTO ADJ.〉ボタン
コンピューター信号入力時、画像を最適な状態に調整します。</p> | <p>(7) 〈INPUT〉ボタン
[入力]メニュー画面を表示します。
(33 ページ)</p> <p>(8) 〈LAMP〉インジケーター
ランプユニットの異常を表示します。</p> <p>(9) 〈TEMP〉インジケーター
内部温度または冷却ファンの状態を表示します。</p> |
|--|--|

お知らせ

- 受像している信号の種類や画像によっては 〈AUTO ADJ.〉を実行しても映像の位置や解像度が正しく表示されない場合があります。正しく表示されない場合は表示映像を変えて再度 〈AUTO ADJ.〉を実行してください。

接続端子部



- (1) 〈MINI USB〉 端子
インタラクティブ機能を使用するときに、付属の USB ケーブルでコンピューターと接続する端子です。
- (2) 〈HDMI IN〉 端子
HDMI 信号を入力する端子です。
- (3) 〈MONITOR OUT〉 端子
COMPUTER 1 または COMPUTER 2 へ入力された映像信号を出力する端子です。
- (4) 〈LAN〉 端子
ネットワークに接続する LAN 端子です。
- (5) 〈S-VIDEO IN〉 端子
〈S-VIDEO AUDIO IN〉 端子
S ビデオ信号、およびその音声信号を入力する端子です。
- (6) 〈AUDIO OUT (VARIABLE)〉 端子
選択中の音声信号を出力する端子です。
- (7) 〈SERIAL IN〉 端子
コンピューターを接続して本機を外部制御するための RS-232C 準拠の入力端子です。
- (8) 〈COMPUTER 1 IN〉 端子
〈COMPUTER 1 AUDIO IN〉 端子
RGB 信号またはコンポーネント信号、およびその音声信号を入力する端子です。
- (9) 〈COMPUTER 2 IN〉 端子
〈COMPUTER 2 AUDIO IN〉 端子
RGB 信号またはコンポーネント信号、およびその音声信号を入力する端子です。
- (10) 〈VIDEO IN〉 端子
〈VIDEO AUDIO IN〉 端子
ビデオ信号、およびその音声信号を入力する端子です。

お願い

- プロジェクターに直接接続する LAN ケーブルは、屋内だけで配線を行ってください。

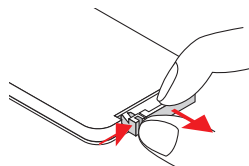
お知らせ

- コンピューターから HDMI-DVI 変換ケーブルで 〈HDMI IN〉 端子に入力した場合は、映像信号のみの入力となり、アナログ音声信号は入力できません。

リモコンの使い方

電池を入れる、取り出す

1) ガイドを押しながら電池ホルダーを引き出す

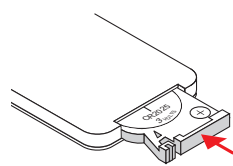


2) 新しい電池を (+) 面を上にして電池ホルダーにセットする



古い電池を取り出し、新しいリチウムコイン電池 (CR2025) を「+」表示が図の上側になるように入れる。

3) 電池ホルダーを元の位置に差し込む



お願い

- リチウムコイン電池を廃棄する場合は、必ず端子 (+/-) をセロハンテープなど粘着性の絶縁テープで覆い、自治体の指示に従って廃棄してください。

リモコンのコントローラー ID を指定する

本機を複数台並べて使用する場合、それぞれの本体に個々のコントローラー ID を設定することにより、1 つのリモコンで同時制御や個別制御ができます。

本体のコントローラー ID を設定したあと、同じコントローラー ID をリモコンに指定してください。

コントローラー ID は 7 種類 (All、ID1 ~ ID6) あります。工場出荷時のコントローラー ID は「All」です。

設定方法

- 1) 〈MENU〉ボタンを押しながら、〈IMAGE〉ボタンを押します。〈IMAGE〉ボタンを押した回数が、コントローラー ID の数字になります。
つまり、〈IMAGE〉ボタンを押す回数は、次の通りです。
ID1 = 1 回、ID2 = 2 回、ID3 = 3 回、ID4 = 4 回、
ID5 = 5 回、ID6 = 6 回
- 2) 〈MENU〉ボタンを放すと、コントローラー ID が変わります。

リセット方法

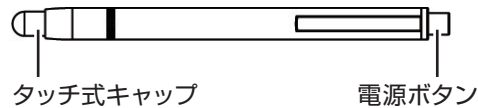
- 1) 〈MENU〉ボタンと〈IMAGE〉ボタンを同時に 10 秒以上押し続けると、コントローラー ID は [All] (デフォルト) にリセットされます。

お知らせ

- [All] を選択すると、複数のプロジェクターを同時制御することができます。
- 〈IMAGE〉ボタンを 7 回以上押すと、その操作は無効とみなされるため、コントローラー ID を変更することはできません。
- 本体のコントローラー ID 設定は、『[設定]について』の『コントローラー ID』(45 ページ) をご覧ください。
- リモコンから電池を取り出して、しばらくの間使用していなかった場合は、コントローラー ID はリセットされます。

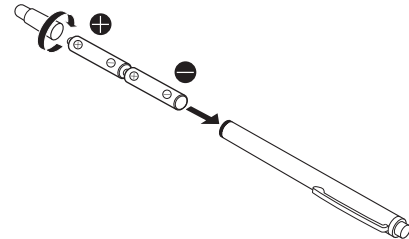
インタラクティブペンの使い方

各部の名称



電池を入れる、取り出す

- 1) 図のようにペンの頭部を回して開ける。
- 2) 単 4 形乾電池 (2 個) を図の向きに入れる。



* 電池を取り出す場合は、逆の手順で行います。

使用方法

先端を硬いスクリーンに押し付けている間、ペンのタッチ式キャップ内部の赤外線 LED が点灯します。これをプロジェクターの前面にある赤外線センサーが感知し、ペンの先端の位置を検出します。ペンの先端をスクリーン上の任意の場所に置きます。先端を硬いスクリーンに押し付けることでドラッグできます。ペンモードの時に、線を引くことができます。

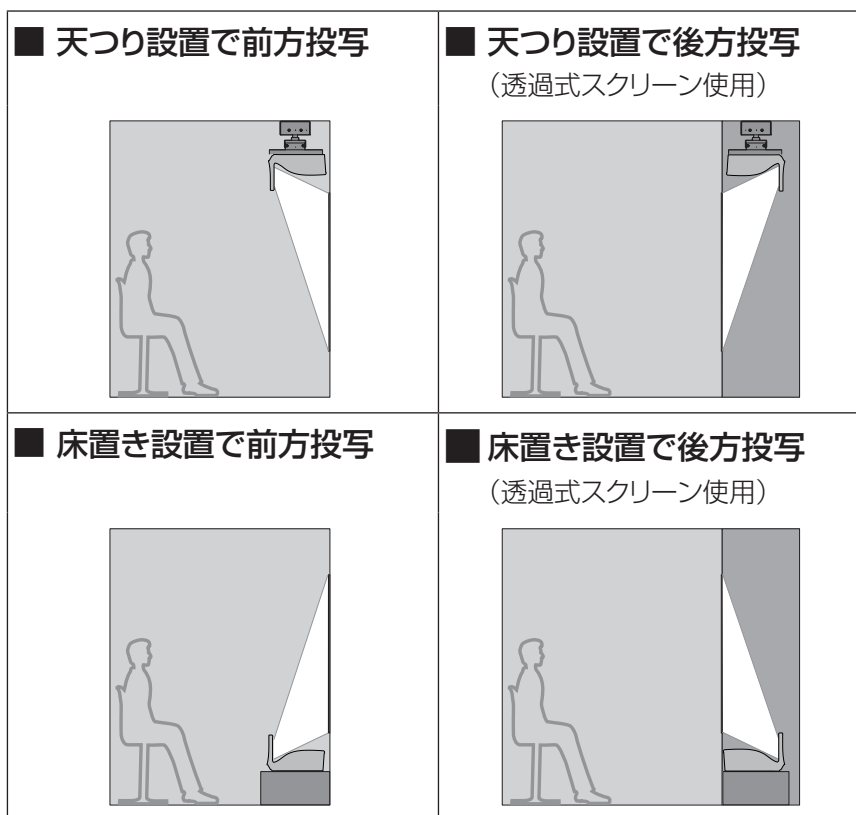
お願い

- ペンの先端内部にはタッチセンサーが付いていますので、先端が押されたり傾けられたりすると電池を消耗します。無駄に電池を消耗させないため、使わない時は、電源ボタンを押して、電源を切りの状態（ペンの先端を押し付けて内部の LED が点灯しないことを確認）にして保存してください。

設置する

投写方式

本機は、4通りの投写方式が可能です。設置場所に応じた投写方式を選択してください。



お願い

- 美しい映像をご覧いただくために、スクリーンを外光や照明などの光ができるだけ直接当たらない場所に設置してください。また、カーテンやブラインドなどを閉め、照明を消すなどしてください。

設置オプションについて（別売品）

別売品の天つり金具(取付けベース金具)(品番:ET-PKC200B)に、天つり金具{品番:ET-PKV100H(高天井用)、ET-PKV100S(低天井用)}を組み合わせるか、壁掛取付金具(品番:ET-PKC200W)を使用して設置することができます。

- 必ず、本機専用の天つり金具または壁掛取付金具をご使用ください。
- 本機の取り付けおよび設置については、天つり金具または壁掛取付金具の施工説明書をご覧ください。

お願い

- 天つり金具または壁掛取付金具の取り付け工事は、性能、安全確保のため、必ずお求めの販売店または専門の技術者に施工を依頼してください。

投写関係

本機の設置は、下図や投写距離を参考にして設置してください。

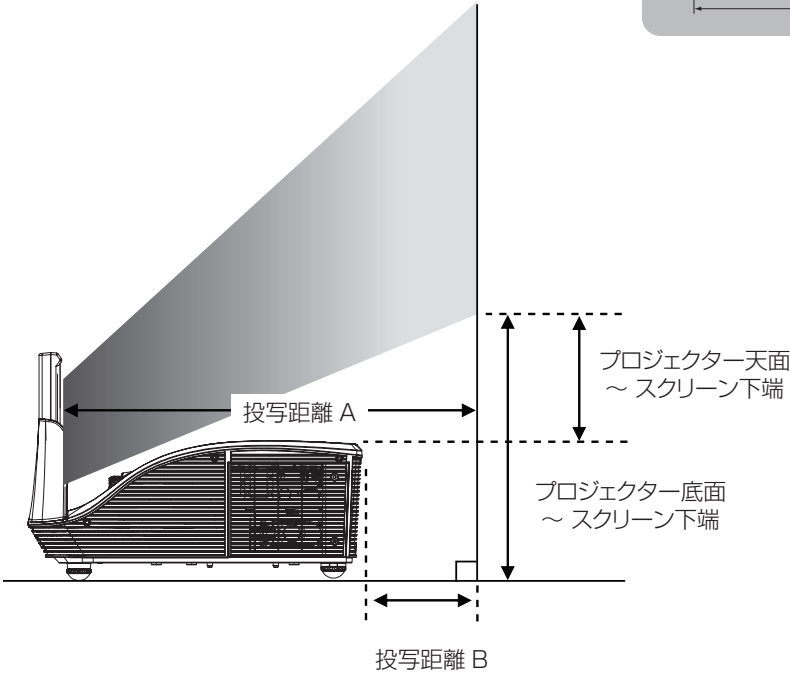
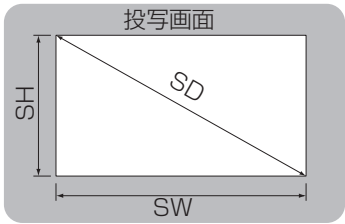
お願い

- 設置をする前に、「ご使用になる前に」(👉 11 ～ 15 ページ)をお読みください。
- 本機と高出力のレーザー機器を同じ部屋で使用しないでください。レーザー光がレンズ面に入ると DLP チップの故障の原因になります。

お知らせ

- スクリーンの投写面が湾曲していたり、凹凸があると映像が正しく映りません。

SH	画面の高さ (m)
SW	画面の幅 (m)
SD	画面对角サイズ (m)



設置する (つづき)

■ 投写距離 (PT-CW331R の場合)

● 画面アスペクト 16:10 のとき (単位:m)

(下記の表に示す寸法には若干の誤差があります。)

投写画面サイズ			投写距離 A	投写距離 B	プロジェクター天面 ～ スクリーン下端	プロジェクター底面 ～ スクリーン下端
対角 (SD)	高さ (SH)	横 (SW)				
1.778 (70 型)	0.942	1.508	0.516	0.181	0.153	0.304
2.032 (80 型)	1.077	1.723	0.597	0.262	0.187	0.338
2.286 (90 型)	1.212	1.939	0.678	0.343	0.221	0.371
2.540 (100 型)	1.346	2.154	0.759	0.424	0.254	0.405

● 画面アスペクト 16:9 のとき (単位:m)

(下記の表に示す寸法には若干の誤差があります。)

投写画面サイズ			投写距離 A	投写距離 B	プロジェクター天面 ～ スクリーン下端	プロジェクター底面 ～ スクリーン下端
対角 (SD)	高さ (SH)	横 (SW)				
1.778 (70 型)	0.872	1.550	0.532	0.197	0.208	0.359
2.032 (80 型)	0.996	1.771	0.615	0.280	0.250	0.401
2.286 (90 型)	1.121	1.992	0.698	0.363	0.291	0.442

● 画面アスペクト 4:3 のとき (単位:m)

(下記の表に示す寸法には若干の誤差があります。)

投写画面サイズ			投写距離 A	投写距離 B	プロジェクター天面 ～ スクリーン下端	プロジェクター底面 ～ スクリーン下端
対角 (SD)	高さ (SH)	横 (SW)				
1.778 (70 型)	1.067	1.422	0.591	0.256	0.184	0.335
2.032 (80 型)	1.219	1.626	0.683	0.348	0.223	0.373

投写距離計算式

上記の表以外の投写寸法は、投写画面サイズ SD (m) から下記の計算式で求めることができます。
計算結果の単位はすべて m です。(下記の計算式で求められる値には若干の誤差があります。)

投写画面サイズを SD とした場合、

	アスペクト 16:10 の場合	アスペクト 16:9 の場合	アスペクト 4:3 の場合
投写画面サイズ 高さ (SH)	$= SD \times 0.530$	$= SD \times 0.490$	$= SD \times 0.6$
投写画面サイズ 幅 (SW)	$= SD \times 0.848$	$= SD \times 0.872$	$= SD \times 0.8$
投写距離 A	$= 0.3189 \times SD - 0.0508$	$= 0.3276 \times SD - 0.05072$	$= 0.3610 \times SD - 0.05069$

お願い

- レンズの性能を維持するため、投写距離 A を 0.516 m から 0.759 m までの距離で本機を設置してください。

お知らせ

- スローレシオは、投写画面サイズ 80 型のとき、0.35:1 となります。

■ 投写距離 (PT-CX301R の場合)

● 画面アスペクト 4:3 のとき (単位:m)

(下記の表に示す寸法には若干の誤差があります。)

投写画面サイズ			投写距離 A	投写距離 B	プロジェクター天面 ～ スクリーン下端	プロジェクター底面 ～ スクリーン下端
対角 (SD)	高さ (SH)	横 (SW)				
1.524 (60 型)	0.914	1.219	0.523	0.188	0.175	0.325
1.778 (70 型)	1.067	1.422	0.617	0.282	0.218	0.368
2.032 (80 型)	1.219	1.626	0.711	0.376	0.260	0.411
2.286 (90 型)	1.372	1.829	0.805	0.470	0.303	0.454

● 画面アスペクト 16:9 のとき (単位:m)

(下記の表に示す寸法には若干の誤差があります。)

投写画面サイズ			投写距離 A	投写距離 B	プロジェクター天面 ～ スクリーン下端	プロジェクター底面 ～ スクリーン下端
対角 (SD)	高さ (SH)	横 (SW)				
1.524 (60 型)	0.747	1.328	0.573	0.238	0.322	0.473
1.778 (70 型)	0.872	1.550	0.676	0.341	0.390	0.540
2.032 (80 型)	0.996	1.771	0.778	0.443	0.457	0.608

投写距離計算式

上記の表以外の投写寸法は、投写画面サイズ SD (m) から下記の計算式で求めることができます。
計算結果の単位はすべて m です。(下記の計算式で求められる値には若干の誤差があります。)

投写画面サイズを SD とした場合、

	アスペクト 4:3 の場合	アスペクト 16:9 の場合
投写画面サイズ 高さ (SH)	$= SD \times 0.6$	$= SD \times 0.490$
投写画面サイズ 幅 (SW)	$= SD \times 0.8$	$= SD \times 0.872$
投写距離 A	$= 0.3700 \times SD - 0.04150$	$= 0.4037 \times SD - 0.04202$

お願い

- レンズの性能を維持するため、投写距離 A を 0.523m から 0.805 m までの距離で本機を設置してください。

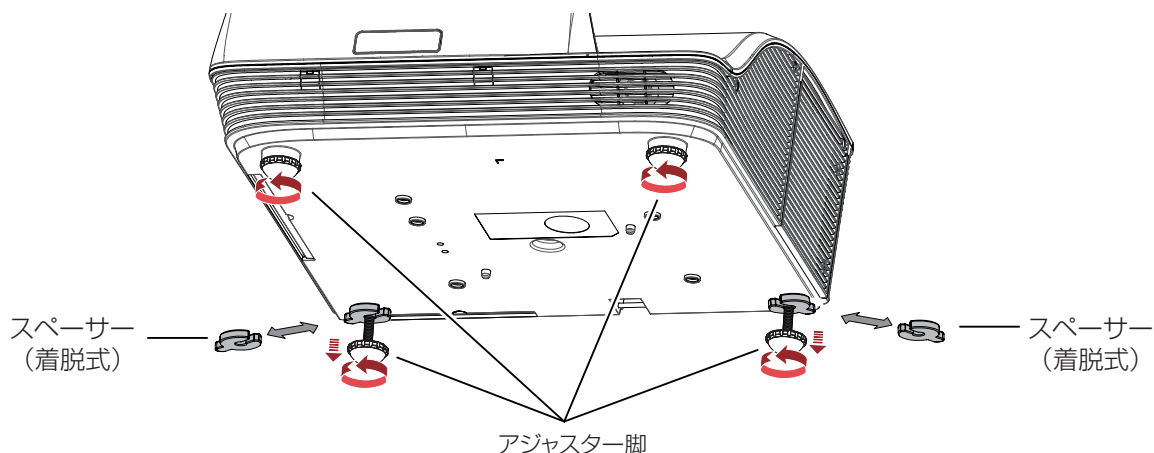
お知らせ

- スローレシオは、投写画面サイズ 80 型のとき、0.44:1 となります。

設置する (つづき)

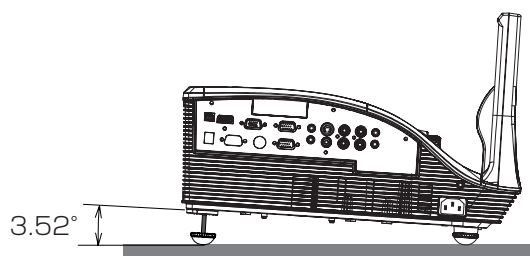
アジャスター脚の調整

アジャスター脚を回して投写画面の高さと傾きを微調整します。
図のように、アジャスター脚を回すと脚を伸ばすことができ、逆に回すと元に戻すことができます。

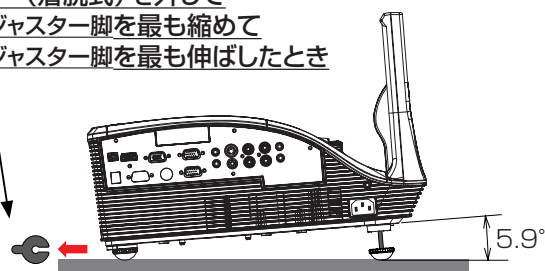


スペーサーは着脱式で、スペーサーの凸部を持って引き抜くことができます。
スペーサーを取り付けた状態で後側のアジャスター脚を回すと、 3.52° まで調整することができます。
スペーサーを取り外して後側のアジャスター脚を最も縮めて前側のアジャスター脚を最も伸ばした状態では、逆方向に 5.9° まで調整することができます。

後側のアジャスター脚を最も伸ばしたとき



スペーサー (着脱式) を外して
後側のアジャスター脚を最も縮めて
前側のアジャスター脚を最も伸ばしたとき

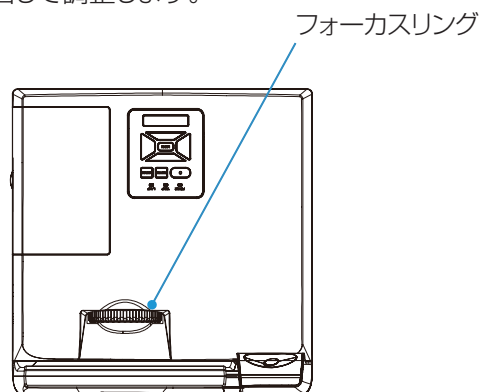


お願い

- ランプが点灯中は排気口から熱風が出ています。アジャスター脚を調整する際は、排気口に直接触れないでください。
- 取り外したスペーサーは、乳幼児の手の届かない所に適切に保管してください。

フォーカスの調整

画面が鮮明になるようにフォーカスリングを回して調整します。



接続する

接続の前に

- 接続の際は、接続される機器の取扱説明書をよくお読みください。
- 各機器の電源を「切」にしてからケーブルの接続を行ってください。
- システム接続に必要な接続ケーブルは、各機器の付属品、別売品がない場合は接続される機器に合わせて準備してください。
- 映像ソースからの映像信号にジッター成分が多い場合は、映像がふらつくことがあります。この場合はタイムベースコレクター (TBC) の接続が必要です。
- 本機に接続できる信号は、ビデオ信号、Sビデオ信号、アナログ RGB 信号（同期信号は TTL レベル）、およびデジタル信号です。
- コンピューターのモデルによっては、本機と接続して使用できないことがあります。
- 各機器と本機を長いケーブルを使用して接続する場合、ケーブル補償器などを使用しないと正常に出画できないことがあります。
- 本機が対応する映像信号については、「対応信号リスト」をご覧ください。（ 72 ～ 73 ページ）

お願い

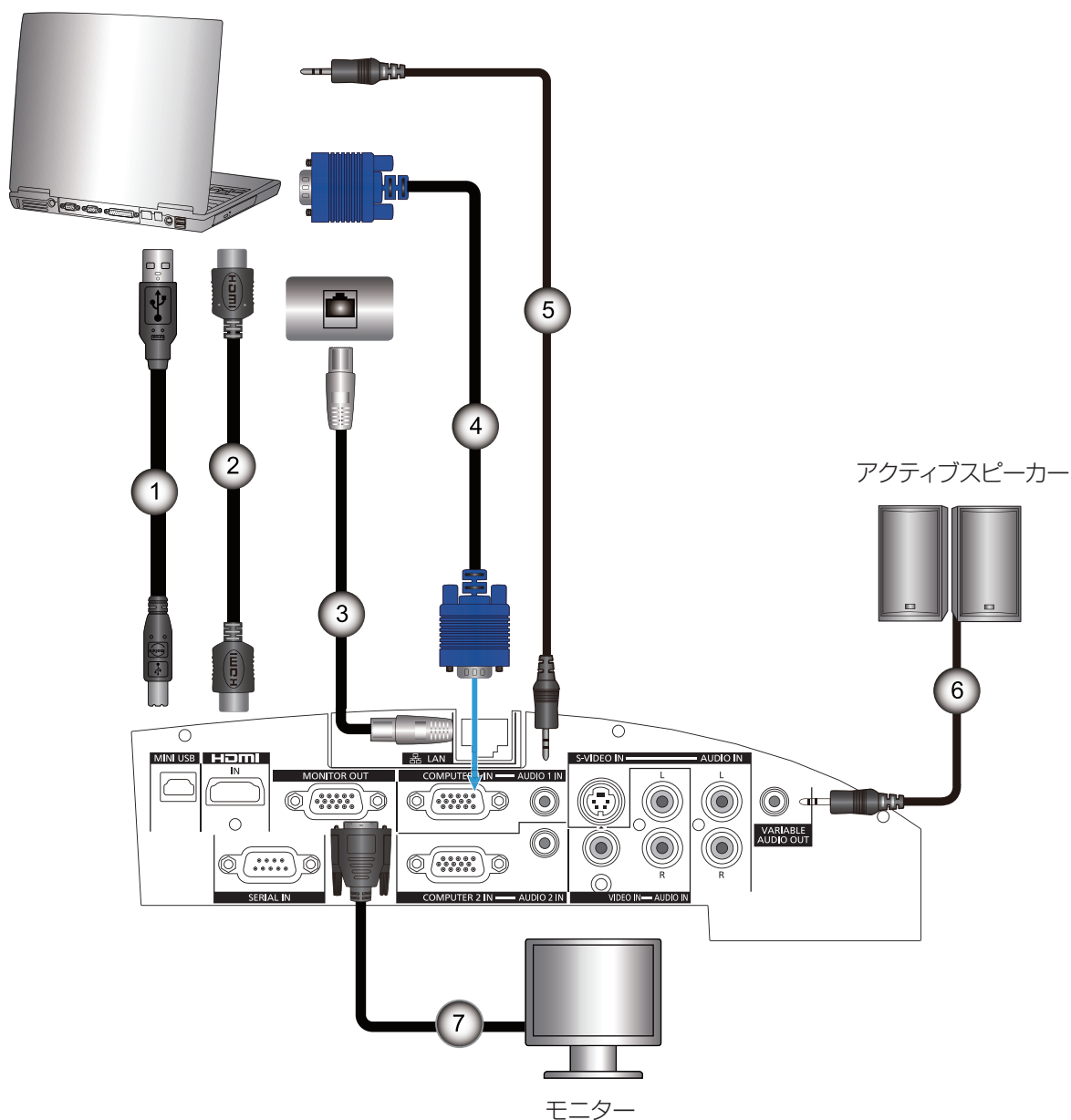
- ビデオデッキを接続するときは、必ずタイムベースコレクター (TBC) 内蔵のものを使用するか、または本機とビデオデッキの間にタイムベースコレクター (TBC) を使用してください。
- バースト信号が非標準の信号を接続すると、映像が乱れることがあります。その場合は、本機との間にタイムベースコレクター (TBC) を接続してください。

お知らせ

- HDMI ケーブルは、HDMI 規格に適合している HDMI High Speed ケーブルをご使用ください。HDMI 規格に適合しないケーブルを使用すると、映像が途切れる、映らないなど正常に動作しないことがあります。
- 本機は、ビエラリンク (HDMI) には対応していません。

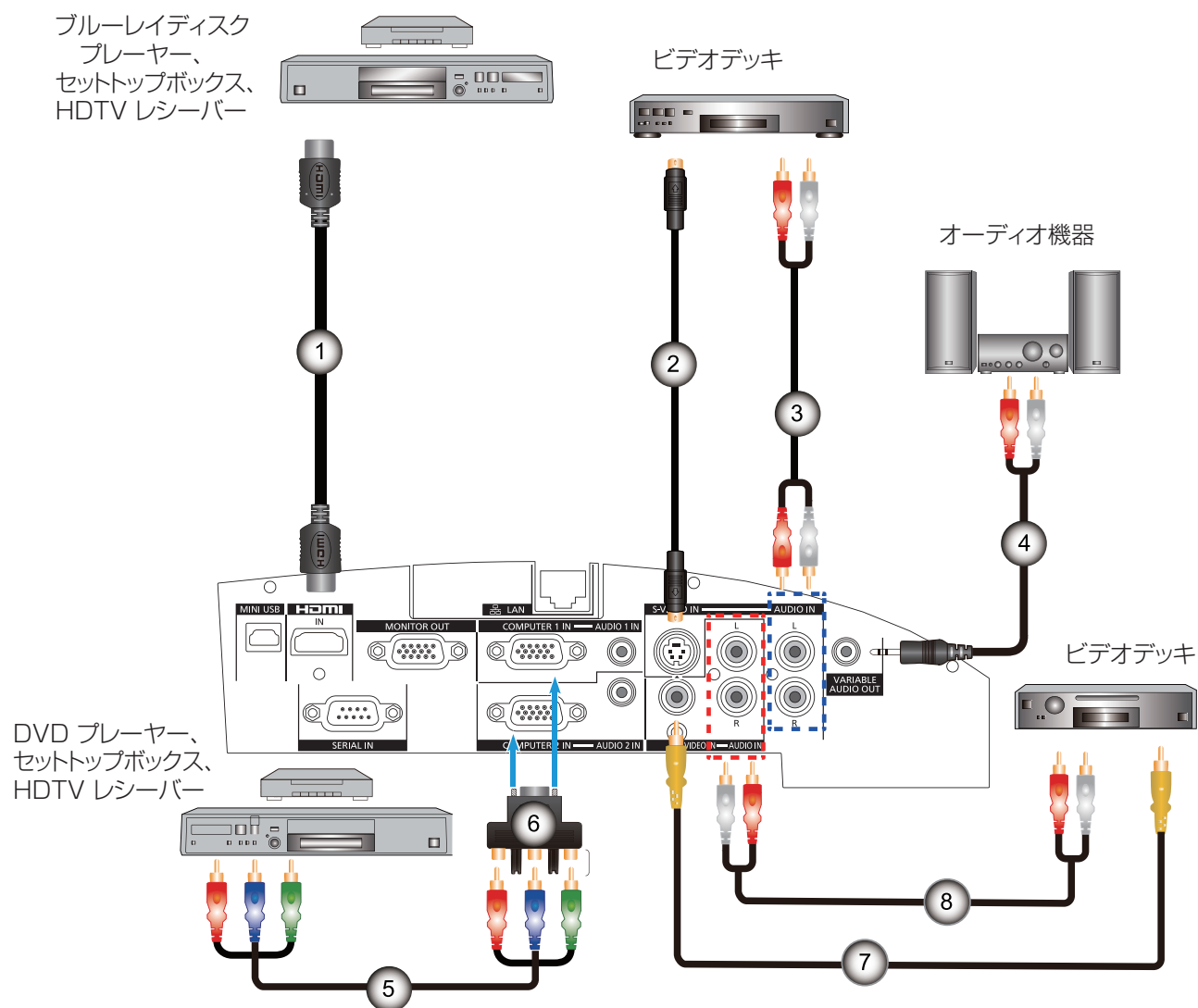
コンピューターとの接続例

コンピューター



- (1) USB ケーブル (インタラクティブ用)
- (2) HDMI ケーブル
- (3) LAN ケーブル
- (4) コンピューターケーブル
- (5) ステレオ音声コード
- (6) ステレオ音声コード
- (7) コンピューターケーブル

映像機器との接続例



- (1) HDMI ケーブル
- (2) S 映像コード
- (3) ステレオ音声ピンコード
- (4) ステレオミニピン音声コード
- (5) コンポーネント映像コード
- (6) D-Sub - コンポーネント変換アダプター
- (7) 映像コード
- (8) ステレオ音声ピンコード

電源を入れる / 切る

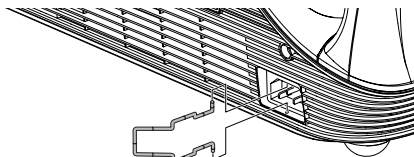
電源コードを接続する

電源コードの抜けを防止するため、付属の電源コードを本体の根元まで確実に差し込んだうえで固定してください。

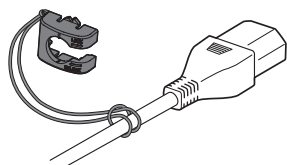
■ 取り付けかた

- 1) 〈AC IN〉端子の上下にある穴に電源コードホルダーを差し込む

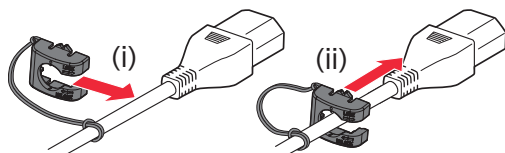
- 電源コードが差し込めるように電源コードホルダーを左にずらしておく



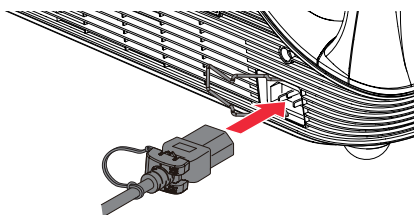
- 2) 電源コードカバーの落下防止ひもを電源コードに巻き付ける



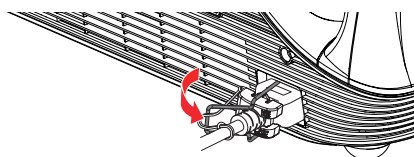
- 3) 電源コードカバーを(i)の方向から差し込み、(ii)の方向にしっかり押し込む



- 4) 〈AC IN〉端子と電源コードのコネクターの形状を確認し、向きを合わせてしっかりと奥まで差し込む

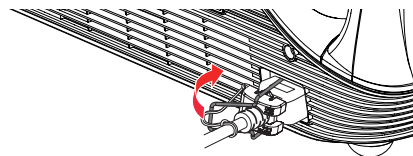


- 5) 電源コードホルダーを引き起こして電源コードにはめ込み、電源コードを固定する

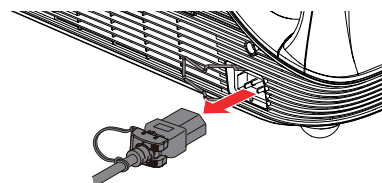


■ 取り外しかた

- 1) 電源コードを止めている電源コードホルダーを左にずらす

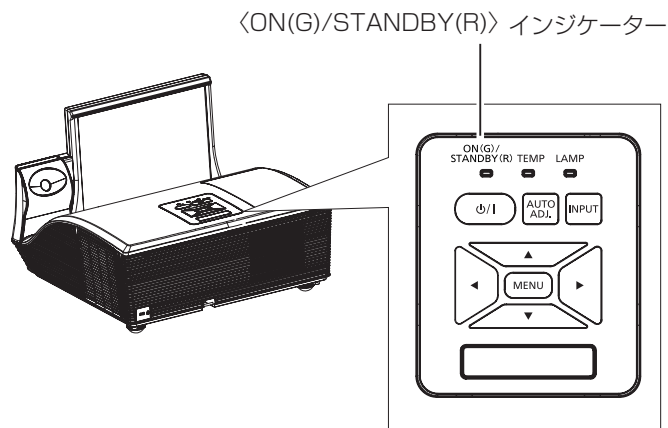


- 2) 電源コードのコネクターを持って、本体の〈AC IN〉端子から電源コードを抜く



〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケータについて

電源の状態を表示します。〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケータの状態をよく確認し、操作してください。



点灯状況		本機の状態
消灯		電源プラグがコンセントに接続されていません。
赤色	点灯 *1	電源が切れています (スタンバイ状態です)。 〈ON/OFF〉ボタンを押すと投写を開始します。
	ゆっくりした点滅 *2	電源が切れています (スタンバイ状態です)。 〈ON/OFF〉ボタンを押すと投写を開始します。
	点滅	電源を切る準備をしています。 しばらくすると電源が切れます (スタンバイ状態になります)。
緑色	点灯	投写の準備中、または投写状態です。

*1 : [LAN(スタンバイ)]/[VGA Out(スタンバイ)]/[スタンバイ時動作 (音声)] がすべて [オフ] に設定されているとき

*2 : [LAN(スタンバイ)]/[VGA Out(スタンバイ)]/[スタンバイ時動作 (音声)] のいずれかが [オン] に設定されているとき

お知らせ

- 〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケータが赤色に点滅中は、内部ファンが回転し、本機を冷却しています。

電源を入れる / 切る (つづき)

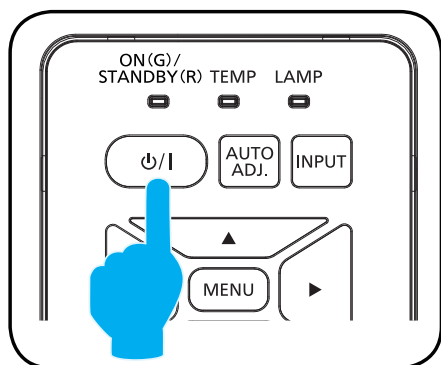
電源を入れる

1) 電源プラグをコンセントに接続する

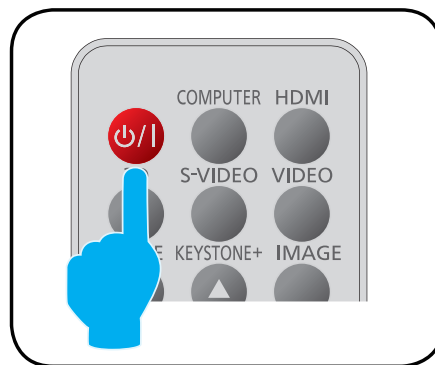
- 〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケーターが赤色に点灯 / 点滅してスタンバイ状態になります。

2) 本体操作部またはリモコンの〈⏻/⏻〉ボタンを押す

- 〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケーターが緑色の点灯に変わり、ランプが点灯します。
- スタートアップ画面が約 10 秒間表示され、その後映像が投写されます。



または



お願い

- 本機をご購入後はじめて電源を入れたとき、メニュー画面は英語で表示されます。メニュー画面を日本語に設定する方法については、[設定] メニューの [言語] (P.44 ページ) をご覧ください。なお、英語メニューでは [Setting] メニューの [Language] を選択して [日本語] に切り換えてください。

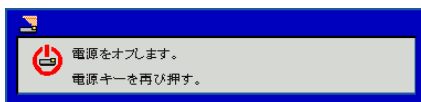
お知らせ

- 前回使用時に、投写中に直接電源ブレーカーで電源を落として終了した場合は、〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケーターが緑色に点灯し、映像投写へと移行します。

電源を切る

1) 本体操作部またはリモコンの〈⏻/⏻〉ボタンを押す

- 次のメッセージが表示されます。
- 何も操作せずに放置していると約 30 秒後にメッセージが消えます。



2) 再度 〈⏻/⏻〉ボタンを押す

- 映像の投写が停止し、本体の〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケーターが赤色の点滅に変わります。(ファンは回転したままです。)

3) 〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケーターが赤色に点灯 / 点滅 (ファンが停止) するまで待つ

- 〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケーターが赤色の点灯 / 点滅に変わりスタンバイ状態になります。

お知らせ

- 電源を切ったあと、すぐに電源を入れて投写をしないでください。ランプの温度が高い状態で電源を入れるとランプの寿命を早めるおそれがあります。
- 運搬・保管のために梱包する場合はセットが十分冷えていることを確認してください。

投写する

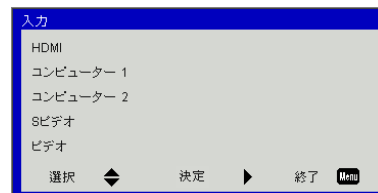
外部機器の接続および電源コードの接続（ 30 ページ）を確認し、電源を入れる（ 32 ページ）と投写を開始します。投写する映像を選択し、映像の映り具合を調整してください。

投写する映像を選択する

映像の入力を切り換えます。

本体操作部の〈INPUT〉ボタン、またはリモコンの〈INPUT〉、〈COMPUTER〉、〈HDMI〉、〈VIDEO〉、〈S-VIDEO〉ボタンを押す

- 選択した端子に入力されている信号の映像が投写されます。
- 〈INPUT〉ボタンを押した場合は、[入力] メニューが表示されますので、
▲▼ ボタンで入力を選択し、▶ ボタンで決定します。



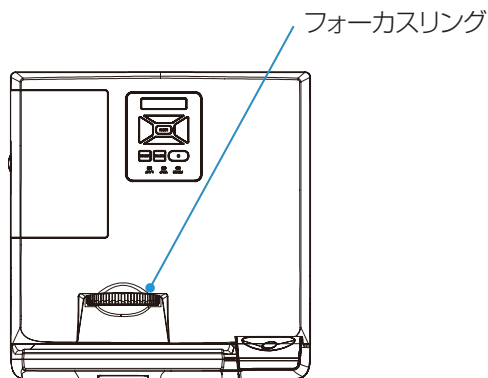
映像の映り具合を調整する

1) 投写角度を調整する

- プロジェクターをスクリーン面と平行に置き、投写画面が長方形になるように水平な場所に設置します。
- プロジェクターがスクリーンより下向きになっている場合は、アジャスター脚を回して投写画面が長方形になるように調整します。
- 詳しくは「アジャスター脚の調整」をご覧ください。（ 26 ページ）

2) フォーカスを調整する

フォーカスリングを回して映像を調整します。



お知らせ

- フォーカス調整は、映像を映した状態で 30 分以上経過したのちに行うことをお勧めします。
- 台形ひずみが発生している場合は、[位置調整] メニューの [垂直キーストーン]（ 43 ページ）を行ってください。

3D 映像を視聴する

3D 映像の視聴について

本機は、「フレームパッキング」、「サイドバイサイド(ハーフ)」、「トップアンドボトム」、「フレームシーケンシャル」、および「フィールドシーケンシャル」の各方式で入力される 3D 映像信号の表示が可能です。3D 映像の視聴に必要な外部機器(3D グラスや映像信号出力機器など)については、ご使用になる 3D システムに合わせてお客様にてご準備ください。本機と外部機器との接続については、ご使用になる 3D システムによって異なりますので、ご使用になる外部機器の取扱説明書をご確認ください。

本機が投写できる 3D 映像信号については『3D 対応信号リスト』(🔍 73 ページ)をご覧ください。

本機は、DLP Link 方式の 3D グラスに対応しています。ただし、各社の 3D グラスとの動作保証はしておりません。

■ 3D 視聴のしかた

3D 対応ブルーレイディスクプレーヤーで 3D 対応のブルーレイディスクを再生することにより、本機で 3D 映像を投写することができます。

1) 3D グラスをかける

- 3D グラスの電源を入れてから、かけてください。

2) 視聴する

- [3D] メニュー内の [3D] の設定で投写映像が変化します。[自動] に設定すると、入力されている映像信号の 3D 方式を自動で判別して表示します。[オン] に設定すると、[3D 映像フォーマット] で指定した 3D 方式で強制的に表示します。3D の視聴については、[3D] メニュー内の [3D] (🔍 49 ページ) をご覧ください。
- 見ている映像に違和感がある場合は、[3D 反転] または [3D 映像フォーマット] で設定を変更してください。

3) 視聴を終える

- 使用後は、3D グラスの電源を切ってください。

お願い

- 3D 映像を視聴する前に、『安全上のご注意』の『3D 映像の視聴について』(🔍 10 ページ)を必ずお読みください。
- 3D グラスの取扱説明書もお読みください。
- 蛍光灯を点灯した室内で 3D グラスを使用すると、光がちらついて見えたり、3D 映像が正しく見えないことがあります。その場合は蛍光灯を消灯してください。
- 3D 映像以外のディスプレイ(例えば、コンピューター画面、デジタル時計、電卓など)を見るときは、3D グラスを外してから見てください。

お知らせ

- 3D 映像を視聴する場合、使用する 3D グラスは、各 3D 映像信号の垂直走査周波数に応じて以下の周波数に同期するものである必要があります。3D グラスの仕様については、各メーカーにお問い合わせください。

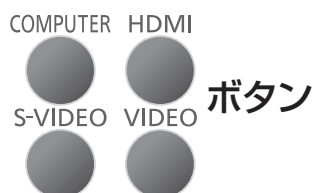
垂直周波数	3D グラス対応周波数
60 Hz / 120 Hz	120 Hz
50 Hz	100 Hz
24 Hz	96 Hz または 144 Hz (推奨)

リモコンで操作する



入力信号を切り換える

このボタンを押すと、入力信号を切り換えることができます。



リモコンの〈COMPUTER〉、〈HDMI〉、〈VIDEO〉、〈S-VIDEO〉ボタンを選択する

COMPUTER	コンピューター 1 入力、またはコンピューター 2 入力に切り換えます。
HDMI	HDMI 入力に切り換えます。
VIDEO	ビデオ入力に切り換えます。
S-VIDEO	S ビデオ 入力に切り換えます。

お知らせ

- 詳しくは「投写する映像を選択する」をご覧ください。
(👉 33 ページ)

〈3D〉ボタン

3D 対応信号を入力した状態で、このボタンを押すと、[3D] メニューが表示され、3D の設定を変更することができます。



リモコンの〈3D〉ボタンを押す

お知らせ

- 詳しくは「[3D] について」をご覧ください。
(👉 49 ~ 50 ページ)

〈FREEZE〉ボタン

このボタンを押すと、外部機器の再生中であっても、一時的に映像を静止させ、消音することができます。



リモコンの〈FREEZE〉ボタンを押す

- 静止中は、図 1 のアイコンが表示されます。



図 1

お知らせ

- 静止機能を中止するには、〈FREEZE〉ボタンをもう一度押します。

〈KEYSTONE〉ボタン

このボタンを押すと、台形ひずみを補正することができます。



リモコンの〈KEYSTONE +〉ボタン、〈KEYSTONE -〉ボタンを押す

お知らせ

- 詳しくは「[位置調整] について」の [垂直キーストーン] をご覧ください。(👉 43 ページ)

〈IMAGE〉ボタン

このボタンを押すと、[ピクチャーモード] メニューが表示され、画質の設定を変更することができます。



リモコンの〈IMAGE〉ボタンを押す

お知らせ

- 詳しくは「[ピクチャー] について」の [ピクチャーモード] をご覧ください。(👉 40 ページ)

リモコンで操作する (つづき)

〈INPUT〉ボタン

このボタンを押すと、[入力]メニューが表示され、入力を変更することができます。

INPUT



ボタン

リモコンの〈INPUT〉ボタンを押す

お知らせ

- 詳しくは「投写する映像を選択する」をご覧ください。
(👉 33 ページ)

〈MENU〉ボタン

このボタンを押すと、メインメニューを表示したり、サブメニューからメインメニューに戻したりすることができます。

MENU



ボタン

リモコンの〈MENU〉ボタンを押す

お知らせ

- 詳しくは「オンスクリーンメニューについて」をご覧ください。
(👉 37 ページ)

〈AUTO ADJ.〉ボタン

このボタンを押すと、コンピューター信号入力時に画像を最適な状態に調整することができます。

MUTE



ボタン

リモコンの〈AUTO ADJ.〉ボタンを押す

お知らせ

- 受像している信号の種類や画像によっては〈AUTO ADJ.〉を実行しても映像の位置や解像度が正しく表示されない場合があります。正しく表示されない場合は表示映像を変えて再度〈AUTO ADJ.〉を実行してください。

〈MUTE〉ボタン

このボタンを押すと、一時的に音声を消すことができます。

MUTE



ボタン

リモコンの〈MUTE〉ボタンを押す

お知らせ

- 音声ミュートを解除するには、もう一度このボタンを押して、[オフ]を選択するか、または〈VOLUME +/-〉ボタンを

押します。(👉 46 ページ)

〈ASPECT〉ボタン

このボタンを押すと、[アスペクト]メニューが表示され、アスペクトを変更することができます。

ASPECT



ボタン

リモコンの〈ASPECT〉ボタンを押す

お知らせ

- 詳しくは「[位置調整]について」の[アスペクト]をご覧ください。
(👉 42 ページ)

〈AV MUTE〉ボタン

このボタンを押すと、映像と音声を一時的に消すことができます。

AV MUTE



ボタン

リモコンの〈AV MUTE〉ボタンを押す

お知らせ

- 元に戻すには、〈AV MUTE〉ボタンをもう一度押します。

〈VOLUME〉ボタン

このボタンを押すと、[ボリューム]メニューが表示され、内蔵スピーカーまたは音声出力の音量を調整することができます。

VOLUME



ボタン

リモコンの〈VOLUME +/-〉ボタンを押す

お知らせ

- 詳しくは「[音声]について」の[ボリューム]をご覧ください。
(👉 46 ページ)

オンスクリーンメニューについて

メニュー画面の操作方法

■ 操作の手順

- 1) リモコンまたは本体操作部の〈MENU〉ボタンを押す
 - メインメニュー画面が表示されます。
- 2) ▲▼ ボタンを押してメインメニュー項目を選択する
 - 選択中の項目はオレンジ色のカーソルで表示されます。
- 3) ▶ ボタンを押す
 - サブメニューの項目が選択できるようになります。
- 4) ▲▼ ボタンを押してサブメニューの項目を選択する
 - 選択中の項目は黄色のカーソルで表示されます。
- 5) ▶ ボタンを押して各調整画面を表示する
- 6) ◀▶ ボタンで、設定の切り換えや調整を行う
- 7) 〈MENU〉ボタンを押してサブメニューに戻る
もう一度 〈MENU〉ボタンを押してメインメニューに戻る
さらにもう一度 〈MENU〉ボタンを押してメインメニューを閉じる



お知らせ

- 本機に入力される信号によっては、調整できない項目や使用できない機能があります。調整または使用できない状態のときは、メニュー画面の項目が灰色で表示され、その項目は選択できません。
- 信号が入力されていない場合でも、調整できる項目があります。
- 約 30 秒間何も操作せずに放置していると、メニュー画面や調整画面は自動的に消えます。
- サブメニューの詳細は、38 ~ 39 ページをご覧ください。

オンスクリーンメニューについて (つづき)

メニューツリー

メインメニュー	サブメニュー	下層メニュー	初期値	範囲
ピクチャー	ピクチャーモード	ダイナミック / PC / 映画 / ゲーム / ユーザー		
	壁の色	白 / ライトイエロー / ライトブルー / ピンク / ダークグリーン	白	
	明るさ			0 ~ 100
	コントラスト			0 ~ 100
	シャープネス			0 ~ 31
	色の濃さ			0 ~ 100
	色合い			0 ~ 100
	ガンマ			0 ~ 3
	色温度	低 / 中 / 高		
	カラースペース	自動 / RGB / YUV	自動	
位置調整	アスペクト	自動 / 4:3 / 16:9 / 16:10	自動	
	位相			0 ~ 31
	クロック周波数			-50 ~ 50
	水平位置			
	垂直位置			
	デジタルズーム		0	0 ~ 10
	垂直キーストーン		0	-15 ~ 15
	投写方式	前面 / 前面天井 / 背面 / 背面天井	前面	
設定	言語	英語 / ドイツ語 / スペイン語 / フランス語 / イタリア語 / オランダ語 / ポルトガル語 / 日本語 / 簡体中国語 / ポーランド語 / 韓国語 / ロシア語 / スウェーデン語 / 繁体中国語 / アラビア語 / ノルウェー語 / トルコ語	英語	
	メニュー位置	左上 / 右上 / 中央 / 左下 / 右下	中央	
	クローズドキャプション	オフ / CC1 / CC2 / CC3 / CC4	オフ	
	VGA Out (スタンバイ)	オン / オフ	オフ	
	LAN (スタンバイ)	オン / オフ	オフ	
	テストパターン	オン / オフ	オフ	
	コントローラー ID	All / ID1 / ID2 / ID3 / ID4 / ID5 / ID6	All	
	スタートアップロゴ	オン / オフ	オン	
	リセット	はい / いいえ	いいえ	
音声	消音	オン / オフ	オフ	
	ボリューム		20	0 ~ 32
	スタンバイ時動作 (音声)	オン / オフ	オフ	

#

[ピクチャー]について

メインメニューの[ピクチャー]を選択して、サブメニューの項目を選択してください（「メニュー画面の操作方法」37ページ参照）。



ピクチャーモード

ご覧になる映像や視聴環境に合わせて最適な映像に設定します。

- 1) ▲▼ ボタンで [ピクチャーモード] を選択する
- 2) ► ボタンで選択画面を表示する
- 3) ◀▶ ボタンで切り換える

ダイナミック	明るい場所で使用する場合に適した画像になります
PC	コンピューター入力に適した画像になります
映画	映画ソースに適した画像になります
ゲーム	ゲームに適した画像になります
ユーザー	お好みの状態に調整した画像になります

お知らせ

- [ダイナミック]、[PC]、[映画]、[ゲーム] を選択すると、[明るさ]、[コントラスト]、[シャープネス]、[色の濃さ]、[色合い]、[ガンマ]、[色温度] は固定値になります。
- [明るさ]、[コントラスト]、[シャープネス]、[色の濃さ]、[色合い]、[ガンマ]、[色温度] を調整すると、[ピクチャーモード] は [ユーザー] になります。
- [ユーザー] の調整値は、入力信号の種類毎に保存されます。
ビデオ、Sビデオ、480i/576i、480p/576p、720p、1080i、1080p、RGB、HDMI(YUV)、HDMI(RGB)
- [3D] の設定が [自動] で 3D 信号入力時、および [3D] の設定が [オン] 時は [ピクチャーモード] はグレー表示となり操作できません。グレー表示になっていない項目は調整できます。

壁の色

壁に投写する際に最適な色になるよう壁の色を設定します。

- 1) ▲▼ ボタンで [壁の色] を選択する
- 2) ► ボタンで選択画面を表示する
- 3) ◀▶ ボタンで切り換える

白	白色のとき
ライトイエロー	淡い黄色のとき
ライトブルー	水色のとき
ピンク	桃色のとき
ダークグリーン	濃い緑色のとき

明るさ

映像の明るさを調整します。

- 1) ▲▼ ボタンで [明るさ] を選択する
- 2) ► ボタンで調整画面を表示する
- 3) ◀▶ ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
► ボタンを押す	画面の暗い部分（黒色）が明るくなります	最大値 +100
◀ ボタンを押す	画面の暗い部分（黒色）が暗くなります	最小値 0

コントラスト

映像の明暗度を調整します。

- 1) ▲▼ ボタンで [コントラスト] を選択する
- 2) ► ボタンで調整画面を表示する
- 3) ◀▶ ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
► ボタンを押す	画面が明るくなり、映像が濃くなります	最大値 +100
◀ ボタンを押す	画面が暗くなり、映像が薄くなります	最小値 0

シャープネス

映像のシャープ感を調整します。

- 1) ▲▼ ボタンで [シャープネス] を選択する
- 2) ► ボタンで調整画面を表示する
- 3) ◀▶ ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
► ボタンを押す	輪郭がシャープになります	最大値 +31
◀ ボタンを押す	輪郭がやわらかくなります	最小値 0

お知らせ

- ビデオ系信号入力時に、[シャープネス]を調整できます。

色の濃さ

色の濃さを調整します。

- 1) ▲▼ ボタンで [色の濃さ] を選択する
- 2) ► ボタンで調整画面を表示する
- 3) ◀▶ ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
► ボタンを押す	色が濃くなります	最大値 +100
◀ ボタンを押す	色が薄くなります	最小値 0

お知らせ

- ビデオ系信号入力時に、[色の濃さ]を調整できます。

色合い

肌の部分を調整します。

- 1) ▲▼ ボタンで [色合い] を選択する
- 2) ► ボタンで調整画面を表示する
- 3) ◀▶ ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
► ボタンを押す	色あいが変化し肌色が緑色がかかります	最大値 +100
◀ ボタンを押す	色あいが変化し肌色が赤紫色がかかります	最小値 0

お知らせ

- ビデオ系信号入力時で、カラー方式が NTSC または NTSC4.43 のとき、[色合い]を調整できます。

ガンマ

映像が明るくて見えにくかったり、暗くて見えにくかったりした場合に調整します。

- 1) ▲▼ ボタンで [ガンマ] を選択する
- 2) ► ボタンで調整画面を表示する
- 3) ◀▶ ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
► ボタンを押す	暗くて見えない部分が見えるようになります	最大値 +3
◀ ボタンを押す	明るくて見えない部分が見えるようになります	最小値 0

色温度

映像の白色部分が青みがかったり、赤みがかったりする場合に切り換えます。

- 1) ▲▼ ボタンで [色温度] を選択する

- 2) ► ボタンで選択画面を表示する
- 3) ◀▶ ボタンで切り換える

低	赤みがかった色味になります
中	中間の色味になります
高	青みがかった色味になります

お知らせ

- [3D] の設定が [自動] で 3D 信号入力時、および [3D] の設定が [オン] 時は、[色温度] はグレー表示となり操作できません。

カラースペース

各色を数値の組み合わせで最適化します。

- 1) ▲▼ ボタンで [カラースペース] を選択する
- 2) ► ボタンで選択画面を表示する
- 3) ◀▶ ボタンで切り換える

自動	入力信号に応じて自動で切り換えます
RGB	コンピューター入りに適します
YUV	コンポーネント入りに適します

お知らせ

- [カラースペース] は、ビデオおよび S ビデオ入力するとき、グレー表示となり操作できません。

[位置調整] について

メインメニューの [位置調整] を選択して、サブメニューの項目を選択してください（「メニュー画面の操作方法」37 ページ参照）。



アスペクト

映像の縦横比（アスペクト比）を切り換えます。

- 1) ▲▼ ボタンで [アスペクト] を選択する
- 2) ► ボタンで選択画面を表示する
- 3) ◀▶ ボタンで切り換える

自動	映像信号に組み入れられたビデオ ID を判別し、4:3、16:9 を自動的に切り換えて投写します
4:3	標準信号入力時 *1 は入力アスペクト比を維持して投写し、ワイド信号入力時 *2 は 4:3 に変換して投写します
16:9	標準信号入力時は 16:9 に変換して投写し、ワイド信号入力時は入力アスペクト比を維持して投写します
16:10	ワイド画面のコンピューターなどの 16:10 画像を投写します

*1: 標準信号入力時とは、アスペクト比 4:3、5:4 の信号入力時です。

*2: ワイド信号入力時とは、アスペクト比 16:10、16:9、15:9、15:10 の信号入力時です。

お知らせ

- 入力信号と異なるアスペクト比を選択すると、オリジナルの映像と見え方に差が出ます。この点に注意して、アスペクト比を選択してください。
- 営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店やホテルなどの場所で、本機を使用して画面の圧縮や引き伸ばしなどをすると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。本機のアスペクト調整、ズーム機能などの機能を利用するときはご注意ください。
- ワイド画面ではない従来（通常）の 4:3 の映像をワイド画面で投写すると、周辺画像が一部見えなくなることや、変形し

て見えることがあります。制作者の意図を尊重したオリジナルの映像は、4:3 の映像でご覧ください。

位相

画像のちらつきが発生しているとき、最適な画像になるように調整します。

- 1) ▲▼ ボタンで [位相] を選択する
- 2) ► ボタンで調整画面を表示する
- 3) ◀▶ ボタンでレベルを調整する

お知らせ

- コンピューター信号入力時に、[位相] を調整できます。

クロック周波数

画像に縦線のちらつきが発生しているとき、最適な画像になるように調整します。

- 1) ▲▼ ボタンで [クロック周波数] を選択する
- 2) ► ボタンで調整画面を表示する
- 3) ◀▶ ボタンでレベルを調整する

お知らせ

- コンピューター信号入力時に、[クロック周波数] を調整できます。

水平位置

映像の水平位置を調整します。

- 1) ▲▼ ボタンで [水平位置] を選択する
- 2) ► ボタンで調整画面を表示する
- 3) ◀▶ ボタンでレベルを調整する

お知らせ

- コンピューター信号入力時に、[水平位置] を調整できます。

垂直位置

映像の垂直位置を調整します。

- 1) ▲▼ ボタンで [垂直位置] を選択する
- 2) ► ボタンで調整画面を表示する
- 3) ◀▶ ボタンでレベルを調整する

お知らせ

- コンピューター信号入力時に、[垂直位置] を調整できます。

デジタルズーム

画面表示倍率を調整します。倍率は、1.0 倍から 2.0 倍まで 0.1 ごとに調整できます。

- 1) ▲▼ ボタンで [デジタルズーム] を選択する
- 2) ► ボタンで調整画面を表示する
- 3) ◀▶ ボタンでレベルを調整する

お知らせ

- [デジタルズーム] で拡大表示した状態でメニューを消すと、画面左下に「ズーム」が表示され、ズーム中であることをお知らせします。



- 拡大表示した状態で ▲▼◀▶ ボタンを押して、映像の表示領域を移動させることができます。
- 拡大表示した状態で入力を切り換えると、[デジタルズーム] の倍率がリセットされます。

背面	スクリーン後方 (透過式スクリーン使用) にある机の上などに設置する場合
背面天井	スクリーン後方 (透過式スクリーン使用) で天井に設置する場合

垂直キーストーン

本機を傾けて設置したり、スクリーンが傾いていたりしている場合に発生する台形ひずみを補正します。

- 1) ▲▼ ボタンで [垂直キーストーン] を選択する
- 2) ▶ ボタンで調整画面を表示する
- 3) ◀▶ ボタンでレベルを調整する
 - リモコンの 〈KEYSTONE +/−〉 (▲/▼) ボタンでも調整できます。

操作	画面の状態
リモコンの ▲▶ ボタン、または、本体操作部の ▶ ボタンで、台形の上部を補正できます。	
リモコンの ▼◀ ボタン、または、本体操作部の ◀ ボタンで、台形の底部を補正できます。	

お知らせ

- 入力信号が無くなったり、本機の電源を切ったり、電源プラグを抜いたりしても調整値を保持しています。
- 台形ひずみの補正量が多くなればなるほど画質が劣化し、フォーカスが合いにくくなります。できるだけ補正量が少なくなるように設置してください。
- 台形ひずみ補正を行うと、画面サイズも変化します。
- 台形ひずみの補正量によっては、クローズドキャプションの表示が欠けることがあります。

投写方式

本機の設置状態に合わせて、投写方式を設定します。

- 1) ▲▼ ボタンで [投写方式] を選択する
- 2) ▶ ボタンで選択画面を表示する
- 3) ◀▶ ボタンで切り換える

前面	スクリーン前方にある机の上などに設置する場合
前面天井	スクリーン前方で天井に設置する場合

[設定] について

メインメニューの [設定] を選択して、サブメニューの項目を選択してください（「メニュー画面の操作方法」37 ページ参照）。



言語

オンスクリーン表示の言語を切り換えます。

- 英語、ドイツ語、スペイン語、フランス語、イタリア語、オランダ語、ポルトガル語、日本語、簡体中国語、ポーランド語、韓国語、ロシア語、スウェーデン語、繁体中国語、アラビア語、ノルウェー語、トルコ語への切り換えができます。

- 1) ▲▼ ボタンで [言語] を選択する
- 2) ► ボタンで言語選択画面を表示する
- 3) ▲▼ ボタンで切り換えて ► ボタンで決定する

メニュー位置

オンスクリーンメニューの位置を切り換えます。

- 1) ▲▼ ボタンで [メニュー位置] を選択する
- 2) ► ボタンで選択画面を表示する
- 3) ◀▶ ボタンで切り換える
 - 左上 → 右上 → 中央 → 左下 → 右下 への切り換えができます。

クローズドキャプション

[NTSC 入力時のみ]

クローズドキャプションの設定を切り換えます。

- 1) ▲▼ ボタンで [クローズドキャプション] を選択する
- 2) ► ボタンで設定画面を表示する
- 3) ◀▶ ボタンで切り換える

オフ	キャプションを表示しません
CC1	CC1 のデータを表示します
CC2	CC2 のデータを表示します
CC3	CC3 のデータを表示します
CC4	CC4 のデータを表示します

お知らせ

- クローズドキャプションは、映像信号に含まれたテキスト情報を表示する機能として、主に北米地域で使用されています。お使いの機器やソフトウェアによっては、キャプション（テキスト情報）が表示されないことがあります。
- NTSC 信号が入力されている場合にのみ「クローズドキャプション」を選択できます。
- メニュー画面表示中は、キャプションは表示されません。
- 台形ひずみの補正量によっては、クローズドキャプションの表示が欠けることがあります。

VGA Out (スタンバイ)

コンピューター 1 に入力した映像が、スタンバイ時に〈MONITOR OUT〉端子から映像信号を出力する / しないを切り換えます。

- 1) ▲▼ ボタンで [VGA Out(スタンバイ)] を選択する
- 2) ► ボタンで設定画面を表示する
- 3) ◀▶ ボタンでオン/オフを切り換える

オン	スタンバイ時に〈MONITOR OUT〉端子から映像信号が出力されます
オフ	スタンバイ時に〈MONITOR OUT〉端子から映像信号が出力されません

LAN (スタンバイ)

スタンバイ時に LAN 機能を有効にする / しないを切り換えます。

- 1) ▲▼ ボタンで [LAN(スタンバイ)] を選択する
- 2) ► ボタンで設定画面を表示する
- 3) ◀▶ ボタンでオン/オフを切り換える

オン	スタンバイ時に LAN 機能を有効にします
オフ	スタンバイ時に LAN 機能を無効にします

テストパターン

本機内蔵のテストパターンを表示する / しないを切り換えます。

- 1) ▲▼ ボタンで [テストパターン] を選択する
- 2) ► ボタンで設定画面を表示する
- 3) ◀▶ ボタンでオン/オフを切り換える

- 表示されているテストパターンを元の映像に戻すときは、〈MENU〉ボタンでメニューを表示させてから [テストパターン] をオフに設定します。

オン	内蔵のテストパターンを表示します
オフ	内蔵のテストパターンを表示しません

コントローラー ID

本機にはコントローラー ID の設定機能があり、本機を複数台並べて使用する場合、1 つのリモコンで同時制御や個別制御ができます。本機の [コントローラー ID] は 7 通り ([All]、[ID 1] ~ [ID 6]) です。

- 1) ▲▼ ボタンで [コントローラー ID] を選択する
- 2) ► ボタンで選択画面を表示する
- 3) ◀▶ ボタンで切り換える

お知らせ

- [All] を選択すると、複数のプロジェクターを同時制御することができます。
- コントローラー ID を指定して個別制御する場合は、リモコンのコントローラー ID を本機のコントローラー ID に合わせる必要があります。(P.20 ページ)

スタートアップロゴ

電源を入れたときに、パナソニックのロゴを表示する / しないを設定します。

- 1) ▲▼ ボタンで [スタートアップロゴ] を選択する
- 2) ► ボタンで設定画面を表示する
- 3) ◀▶ ボタンでオン/オフを切り換える

オン	電源を入れたときに、ロゴを表示します
オフ	電源を入れたときに、ロゴを表示しません

リセット

メニューで設定したデータをすべて工場出荷状態に戻します。

- 1) ▲▼ ボタンで [リセット] を選択する
- 2) ► ボタンで設定画面を表示する
- 3) ▲▼ ボタンではいを選択する
- 4) ► ボタンで実行する

お知らせ

- ランプの使用時間はリセットされません。

[音声] について

メインメニューの [音声] を選択して、サブメニューの項目を選択してください（「メニュー画面の操作方法」37 ページ参照）。



消音

音声を一時的に消します。

- 1) ▲▼ ボタンで [消音] を選択する
- 2) ► ボタンで設定画面を表示する
- 3) ◀▶ ボタンでオン/オフを切り換える

オン	音声が消えます
オフ	音声が出ます

- リモコンの〈MUTE〉ボタンを押すことで消音機能のオン/オフを切り換えることもできます。

ボリューム

音量を調整します。

- 1) ▲▼ ボタンで [ボリューム] を選択する
- 2) ► ボタンで調整画面を表示する
- 3) ◀▶ ボタンでレベルを調整する

操作	調整	調整範囲
► を押す	ボリュームを上げる	最大値 + 32
◀ を押す	ボリュームを下げる	最小値 0

- リモコンの〈VOLUME +/-〉ボタンを押して、音量を調整することもできます。

スタンバイ時動作 (音声)

スタンバイ時の音声出力オン / オフの切り換えを行います。

- 1) ▲▼ ボタンで [スタンバイ時動作 (音声)] を選択する
- 2) ► ボタンで調整画面を表示する
- 3) ◀▶ ボタンでオン/オフを切り換える

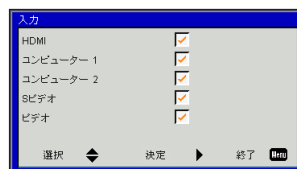
オン	スタンバイ時、音声が出ます
オフ	スタンバイ時、音声が消えます

お知らせ

- [スタンバイ時動作 (音声)] を [オン] にしてスタンバイ状態にしたとき、選択中の入力に対応した音声は〈AUDIO OUT (VARIABLE)〉端子から出力されます。
- [スタンバイ時動作 (音声)] を [オン] にしてスタンバイ状態にしたとき、リモコンで入力を切り換えたり、リモコンの〈VOLUME +/-〉ボタンを押して、音量を調整することができます。ただし、〈MUTE〉ボタンは動作しません。
- 投写状態からスタンバイ状態にすると、投写中に選択した入力にかかわらず、入力はコンピューター 1 が選択されています。リモコンで音声出力したい入力に切り換えてください。
- HDMI 入力選択時は [スタンバイ時動作 (音声)] を [オン] に設定しても、スタンバイ状態で音声は出力されません。

[オプション] について

メインメニューの [オプション] を選択して、サブメニューの項目を選択してください（「メニュー画面の操作方法」37 ページ参照）。



- 3) ▲▼ ボタンでサーチしたい入力を選択し
▶ ボタンを押す
 - チェックマークが付いている入力が、[自動ソース] の設定が [オン] 時のサーチの対象となります。
 - チェックマークを外すときは、チェックマークが付いている入力を選択して ▶ ボタンを押します。

自動電源オフ（分）

入力信号が無い場合に、タイマーで自動的に電源を切る時間を設定します。

- 1) ▲▼ ボタンで [自動電源オフ] を選択する
- 2) ▶ ボタンで調整画面を表示する
- 3) ◀▶ ボタンで時間（分単位）を調整する
 - [0 分] に設定すると、[自動電源オフ] は無効になります。
 - 5 分単位で最高 [120 分] まで設定することができます。

お知らせ

- 自動で電源が切れる 60 秒前に、画面中央にカウントダウンが表示されます。カウントダウン表示中に信号を入力したり本機を操作すると表示が消えます。

ランプ設定

ランプの使用時間を確認したり、ランプに関する設定をしたりします。

- 1) ▲▼ ボタンで [ランプ設定] を選択する
- 2) ▶ ボタンで設定画面を表示する

■ 使用されたランプ時間（標準）

- [ランプ電源モード] を [ノーマル] に設定して使用したランプの点灯時間を、時間単位で表示します。

■ 使用されたランプ時間（エコ）

- [ランプ電源モード] を [エコ] に設定して使用したランプの点灯時間を、時間単位で表示します。

■ ランプ寿命通知

- 1) ▲▼ ボタンで [ランプ寿命通知] を選択する
- 2) ▶ ボタンで設定画面を表示する
- 3) ◀▶ ボタンでオン/オフを切り換える

オン	ランプ警告メッセージ (62 ページ) を表示します
オフ	ランプ警告メッセージを表示しません

自動ソース

電源を入れて投写を開始する際、および入力信号（信号ソース）が途絶えた際の自動入力サーチ機能の動作について設定をします。

- 1) ▲▼ ボタンで [自動ソース] を選択する
- 2) ▶ ボタンで設定画面を表示する
- 3) ◀▶ ボタンでオン/オフを切り換える

オン	電源を入れたとき、および受信中の入力（信号ソース）が無くなったとき、[入力] でチェックマークが付いている入力（信号ソース）を自動サーチして表示します
オフ	受信中の入力（信号ソース）が無くなったとき、入力（信号ソース）を自動でサーチしません

- [コンピュータ 1] → [コンピュータ 2] → [HDMI] → [ビデオ] → [Sビデオ] → [コンピュータ 1] → … の順にサーチしますが、受信中の入力（信号ソース）が無くなると、その次の入力からサーチを始めます。

入力

[自動ソース] で優先的に自動サーチする入力を設定します。

- 1) ▲▼ ボタンで [入力] を選択する
- 2) ▶ ボタンで設定画面を表示する
 - [入力] メニューが表示されます。

[オプション]について (つづき)

■ ランプ電源モード

- 本機の使用環境や目的に合わせてランプの明るさを切り換えます。

- 1) ▲▼ ボタンで [ランプ電源モード] を選択する
- 2) ► ボタンで設定画面を表示する
- 3) ◀▶ ボタンで切り換える

ノーマル	高い輝度が必要なときに設定します
エコ	輝度が低くてもよく、省電力を優先するときに設定します

お知らせ

- [エコ] に設定した場合、消費電力の削減、動作音の低減、ランプ寿命の延長を図ることができます。
- 投写中に無信号状態が 5 分を超えると、節電のためランプ電力を抑えた状態に自動で変化します。

■ ランプ時間のリセット

- ランプの使用時間を 0 にリセットします。
- ランプを交換した後は、必ずランプの使用時間をリセットしてください。

- 1) ▲▼ ボタンで [ランプ時間のリセット] を選択する
- 2) ► ボタンで確認画面を表示する
- 3) ▲▼ ボタンではい / いいえを切り換える
- 4) ► ボタンで実行する

ダイナミックブラック

映像の暗部を細部まで鮮明に表示することができます。

- 1) ▲▼ ボタンで [ダイナミックブラック] を選択する
- 2) ► ボタンで設定画面を表示する
- 3) ◀▶ ボタンでオン/オフを切り換える

オン	暗い映像を細部まで鮮明に表示します
オフ	通常の再現性で表示します

お知らせ

- [ダイナミックブラック] は、[ピクチャーモード] が [映画] のとき以外はグレー表示となり操作できません。

高度

海拔 1 000 m 以上 ~ 3 000 m 未満の高地で使用する場合は、[オン] に設定します。

- 1) ▲▼ ボタンで [高度] を選択する
- 2) ► ボタンで設定画面を表示する
- 3) ◀▶ ボタンでオン/オフを切り換える

オン	高地 (海拔 1 000 m 以上 ~ 3 000 m 未満) で使用する場合
オフ	海拔 1 000 m 未満で使用する場合

お知らせ

- [オン] に設定した場合、ファンの回転数が上がり、動作音が大きくなります。

フィルター通知

定期的なフィルター掃除周期を設定したり、フィルターの使用時間をリセットしたりします。

- 1) ▲▼ ボタンで [フィルター通知] を選択する
- 2) ► ボタンで設定画面を表示する

■ フィルターリマインダー (時間)

- 設定した時間が経過すると、フィルター通知のメッセージ (P.59 ページ) が表示されます。

- 1) ▲▼ ボタンで [フィルターリマインダー] を選択する
- 2) ► ボタンで調整画面を表示する
- 3) ◀▶ ボタンで時間 (時間単位) を調整する
 - 50 時間単位で最高 [1 000 時間] まで設定することができます。
 - [0 時間] に設定すると、フィルター通知のメッセージは表示されません。

■ リマインダーの削除

- エアフィルターの使用時間を 0 にリセットします。
- エアフィルターをお手入れまたは交換した後は、必ず [フィルターリマインダー] をリセットしてください。

- 1) ▲▼ ボタンで [リマインダーの削除] を選択する
- 2) ► ボタンで確認画面を表示する
- 3) ▲▼ ボタンではい / いいえを切り換える
- 4) ► ボタンで実行する

お知らせ

- エアフィルターのお手入れは、約 500 時間を目安に行うことをお勧めします。

情報

本機の設定状態や入力信号の情報を表示します。

- 1) ▲▼ ボタンで [情報] を選択する
- 2) ► ボタンで情報画面を表示する
 - [モデル名]、[入力]、[解像度]、[ソフトウェアバージョン]、[カラースペース]、[アスペクト] が表示されます。

[3D] について

メインメニューの [3D] を選択して、サブメニューの項目を選択してください（「メニュー画面の操作方法」37 ページ参照）。



3D

3D 映像の表示モードを設定します。

- 1) ▲▼ ボタンで [3D] を選択する
- 2) ► ボタンで設定画面を表示する
- 3) ◀▶ ボタンで切り換える

自動	HDMI 入力で 3D 信号が入力されているときは、映像信号の 3D 方式を自動で判別して映像を表示します。その他の入力や 2D 信号が入力されているときは、2D で映像を表示します。
オン	RGB 信号、ビデオ信号など 3D 方式の情報が含まれていない 3D 映像信号を入力する場合に選択します。[3D 映像フォーマット] で設定されたフォーマットで強制的に表示します。
オフ	3D 映像表示をオフにします。オフの設定で 3D 映像信号を入力した場合は映像が正しく表示されない場合があります。

お知らせ

- 3D 映像をご覧になるには、3D 専用のメガネが必要です。
- [3D] をオンに設定している場合は、入力されている映像信号にかかわらず [ピクチャー] メニューは 3D の設定になり、[ピクチャーモード] と [色温度] の調整はできません。
- HDMI 入力であっても 3D 方式の情報が含まれていない 3D 映像信号の場合は、[3D] の設定を自動に設定していても自動的に 3D の映像が表示されませんので、[3D] の設定を [オン] にして [3D 映像フォーマット] で設定してください。
- 画面が明滅する異常な場合は [3D] の設定を [自動] に設定してください。また [3D 映像フォーマット] の設定を確認してください。

お願い

- 3D 映像をご覧になるときは、3D 視聴に関する安全上のご注意をよくお読みください。（👁️ 10 ページ）

3D 反転

映像の左右が切り換わるタイミングを反転して表示します。見ている 3D 映像に違和感があるときに設定を変更してください。

- 1) ▲▼ ボタンで [3D 反転] を選択する
- 2) ► ボタンで設定画面を表示する
- 3) ◀▶ ボタンでオン/オフを切り換える

オフ	3D 映像が正しく表示されている場合、[オフ] のまま設定を変更しないでください
オン	3D 映像に違和感がある場合に選択してください

3D 映像フォーマット

[3D] がオン時に強制的に表示する 3D の方式を設定します。

- 1) ▲▼ ボタンで [3D 映像フォーマット] を選択する
- 2) ► ボタンで設定画面を表示する
- 3) ▲▼ ボタンで 3D 映像フォーマットを選択する
- 4) ► ボタンで決定する

フレームパッキング	入力されている映像信号に関わらず、フレームパッキング方式で 3D 映像を表示します
サイドバイサイド・ハーフ	入力されている映像信号に関わらず、サイドバイサイド・ハーフ方式で 3D 映像を表示します
トップアンドボトム	入力されている映像信号に関わらず、トップアンドボトム方式で 3D 映像を表示します
フレームシーケンシャル	入力されている映像信号に関わらず、フレームシーケンシャル方式で 3D 映像を表示します
フィールドシーケンシャル	入力されている映像信号に関わらず、フィールドシーケンシャル方式で 3D 映像を表示します

[3D] について (つづき)

1080p@24

1080p/24 信号入力時に、外部機器の出力に合わせて設定します。

- 1) ▲▼ ボタンで [1080p@24] を選択する
- 2) ► ボタンで設定画面を表示する
- 3) ◀▶ ボタンで切り換える

96Hz	外部機器の出力が 96 Hz に設定されている場合
144Hz	外部機器の出力が 144 Hz に設定されている場合

お知らせ

- [3D 安全注意メッセージ] 画面は約2分間表示されます。メッセージ画面の表示中に〈MENU〉ボタンを押すとメッセージ画面を消すことができます。

3D 安全注意メッセージ

電源を入れたときの 3D 視聴に関する安全注意メッセージの表示 / 非表示を設定します。

- 1) ▲▼ ボタンで [3D 安全注意メッセージ] を選択する
- 2) ► ボタンで設定画面を表示する
- 3) ◀▶ ボタンでオン/オフを切り換える

オン	電源を入れたときに 3D 安全注意メッセージを表示します
オフ	電源を入れたときに 3D 安全注意メッセージを表示しません

お願い

- 3D 映像を業務用途などで不特定多数の方々に視聴させる場合は、3D 視聴に関する安全注意メッセージを表示するなどして、その内容を視聴者に伝えてください。

お知らせ

- [3D 安全注意メッセージ] 画面は約2分間表示されます。メッセージ画面の表示中に〈MENU〉ボタンを押すとメッセージ画面を消すことができます。

3D 視聴に関するお願い

3D 視聴に関する安全注意メッセージを表示します。

- 1) ▲▼ ボタンで [3D 視聴に関するお願い] を選択する
- 2) ► ボタンでメッセージ画面を表示する
 - [3D 視聴に関するお願い] 画面が表示されます。

3D視聴に関するお願い

- ・3Dを正しく、快適に見ていただくために取扱説明書の「安全上のご注意」をお読みください。
- ・体調不良の状態での3Dのご視聴はお止めください。
- ・ご視聴中に体に疲れを感じられたら、直ちに使用を中止してください。

[LAN] について

メインメニューの [LAN] を選択して、サブメニューの項目を選択してください（「メニュー画面の操作方法」37 ページ参照）。



お知らせ

- [LAN] の設定は、工場出荷時、あらかじめ下記設定がされています。

DHCP	オフ
IP アドレス	192.168.10.100
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.10.1
DNS	(設定なし)

- DHCP サーバーを利用する場合、DHCP サーバーが立ち上がっていることを確認してください。
- IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS の詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

DHCP

DHCP サーバーを利用する、しないを設定します。

- 1) ▲▼ ボタンで [DHCP] を選択する
- 2) ► ボタンで設定画面を表示する
- 3) ▲▼ ボタンでオン/オフを切り換える
 - オン/オフを切り換えても、ここで 〈MENU〉 ボタンを押すと切り換わずに終了します。
- 4) ► ボタンで決定する
 - [オン] を選択して決定した後、LAN 設定中のメッセージが表示され、表示が消えると DHCP の設定が完了します。
- 5) 〈MENU〉 ボタンで終了する

オン

本機を接続するネットワークに DHCP サーバーが存在する場合、自動的に IP アドレスを取得します。

オフ

本機が接続するネットワークに DHCP サーバーが存在しない場合、[IP アドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイ]、[DNS] の設定を行ってください。

IP アドレス

DHCP サーバーを利用しない場合に、[IP アドレス] を入力します。

- 1) ▲▼ ボタンで [IP アドレス] を選択する
- 2) ► ボタンで設定画面を表示する
- 3) ▲▼◀▶ ボタンで数字を入力する
- 4) 〈MENU〉 ボタンで終了する

サブネットマスク

DHCP サーバーを利用しない場合に、[サブネットマスク] を入力します。

- 1) ▲▼ ボタンで [サブネットマスク] を選択する
- 2) ► ボタンで設定画面を表示する
- 3) ▲▼◀▶ ボタンで数字を入力する
- 4) 〈MENU〉 ボタンで終了する

ゲートウェイ

DHCP サーバーを利用しない場合に、[ゲートウェイ] を入力します。

- 1) ▲▼ ボタンで [ゲートウェイ] を選択する
- 2) ► ボタンで設定画面を表示する
- 3) ▲▼◀▶ ボタンで数字を入力する
- 4) 〈MENU〉 ボタンで終了する

DNS

DHCP サーバーを利用しない場合に、[DNS] を入力します。

- 1) ▲▼ ボタンで [DNS] を選択する
- 2) ► ボタンで設定画面を表示する
- 3) ▲▼◀▶ ボタンで数字を入力する
- 4) 〈MENU〉 ボタンで終了する

保存

入力したネットワークの設定を保存します。

- 1) ▲▼ ボタンで [保存] を選択する
- 2) ► ボタンで確認画面を表示する
- 3) ▲▼ ボタンではい / いいえを切り換える
- 4) ► ボタンで実行する
 - [はい] を選択して実行すると、実行中のメッセージが表示され、表示が消えると保存が完了します。

リセット

入力したネットワークの設定を工場出荷状態に戻します。

- 1) ▲▼ ボタンで [リセット] を選択する
- 2) ► ボタンで確認画面を表示する
- 3) ▲▼ ボタンではい / いいえを切り換える
- 4) ► ボタンで実行する
 - [はい] を選択して実行すると、実行中のメッセージが表示され、表示が消えるとリセットが完了します。

ネットワーク接続

本機はネットワーク機能を備えており、WEB ブラウザーを使用してコンピューターから下記のような操作ができます。

- プロジェクターの設定と調整
- プロジェクターの状態表示
- プロジェクターが異常時に E メールメッセージを送信

また、本機は「Crestron RoomView」に対応しており、Crestron Electronics, Inc. の以下のアプリケーションソフトを使用することができます。(☞ 57 ページ)

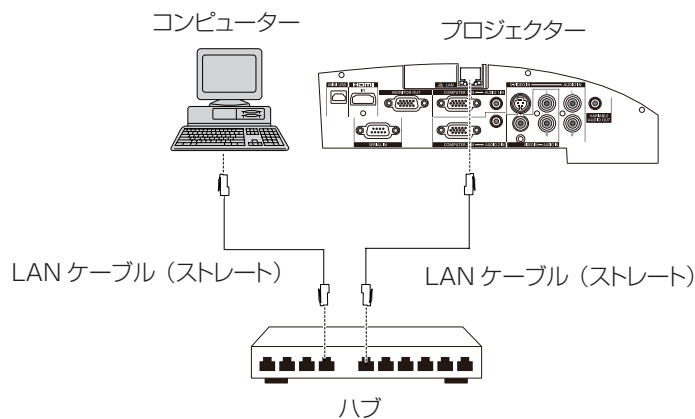
・ RoomView Express

お願い

- LAN は屋内の機器に接続してください。
- <COMPUTER 1 IN> 端子と <LAN> 端子は位置が近いため、両方にケーブルを接続しているときは、<LAN> 端子に接続されているケーブルの取り外しが難しくなる場合があります。<LAN> 端子に接続しているケーブルを取り外すときは、あらかじめ、<COMPUTER 1 IN> 端子に接続しているケーブルを取り外してください。

お知らせ

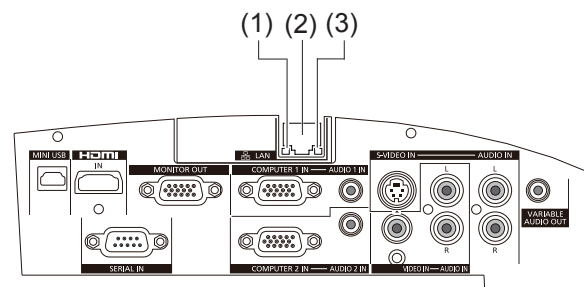
- ネットワーク機能を使用する場合は、LAN ケーブルが必要です。



- 本機能をご使用になる場合は、WEB ブラウザーが必要です。あらかじめ WEB ブラウザーが利用できることを確認してください。
対応 OS : Windows XP/Windows Vista/Windows 7、Mac OS X v10.4/v10.5/v10.6/v10.7
対応ブラウザ : Internet Explorer 7.0/8.0/9.0、Safari 4.0/5.0 (Mac OS)
- E メール機能をご使用になる場合は、E メールサーバーと通信する必要があります。あらかじめ E メールが利用できることを確認してください。
- LAN ケーブルはシールドタイプでカテゴリ 5 以上対応のものをご使用ください。
- LAN ケーブル長は 100 m 以下のものをご使用ください。

■ ネットワーク機能の各部の名称とはたらき

- (1) LINK ランプ (黄色)
接続時に点灯します。
- (2) <LAN> 端子 (10BASE-T/100BASE-TX)
LAN ケーブルを接続します。
- (3) ACT ランプ (緑色)
送受信時に点滅します。



コンピュータのネットワーク設定

プロジェクターに接続して使用するコンピュータのネットワーク設定（有線 LAN）を行います。
ネットワークの設定は、ネットワーク管理者に確認してから行ってください。

1) コンピューターの電源をオンにする

2) ネットワーク管理者の指示に従い、ネットワークの設定を行う

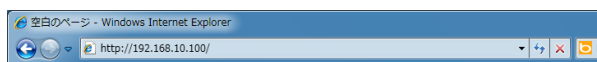
プロジェクターの設定が工場出荷の状態（ 51 ページ）であれば、コンピュータ側は下記ネットワーク設定でお使いいただけます。

DHCP	オフ
IP アドレス	192.168.10.101
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.10.1
DNS	なし

WEB ブラウザーで操作する

1) コンピューターの WEB ブラウザーを起動する

2) WEB ブラウザーの URL 入力欄に本機で設定した IP アドレスを入力する



3) パスワードを入力する

- 管理者パスワードを設定している場合に入力します。（ 56 ページ）



4) [ログイン] ボタン をクリックする

- [ホーム] ページが表示されます。



- 画面左側のページメニューを選択して各ページを表示します。

お願い

- セキュリティ対策のため、“Web 管理”の管理者パスワードを設定して、ログインできるユーザーを制限してください。（ 56 ページ）
- 電源コードを抜くなどしてセットの電源を切った場合はネットワークの接続が切断されますので、セットの電源の再投入後に WEB ブラウザーで操作する時には、キーボードの [F5] を押して WEB ブラウザーをリフレッシュしてください。

■ 各項目の説明

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)

- (1) [ホーム]
この項目をクリックすると、[ホーム] ページが表示されます。
- (2) [ネットワーク設定]
この項目をクリックすると、[ネットワーク設定] ページが表示されます。
- (3) [プロジェクターの状態と管理]
この項目をクリックすると、[プロジェクターの状態と管理] ページが表示されます。
- (4) [E メールアラート]
この項目をクリックすると、[E メールアラート] ページが表示されます。
- (5) [パスワード設定]
この項目をクリックすると、[パスワード設定] ページが表示されます。

■ [ホーム] ページ

ログインしたときの画面です。

(1)
(2)

- (1) [プロジェクター情報]
プロジェクターの基本情報を確認します。「ランプ時間」はランプの使用時間 (換算値)、「動作時間」はプロジェクターの稼動時間を表します。
- (2) [言語]
WEB 管理画面の言語 (17 か国語) を選択します。
 - 英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、オランダ語、ポルトガル語、日本語、繁体字中国語、簡体字中国語、韓国語、ロシア語、ポーランド語、スウェーデン語、アラビア語、トルコ語、ノルウェー語への切り換えができます。なお、WEB 管理画面の操作ではプロジェクターのオンスクリーン表示の言語は切り換わりません。

お願い

- 本機をご購入後はじめてログインしたとき、画面は英語で表示されますので、[言語] を日本語に切り換えてください。

■ [ネットワーク設定] ページ

プロジェクターのネットワーク情報を設定します。入力後、[保存] ボタンを押して保存します。

(1)
(2)
(3)

- (1) [モデル名] [プロジェクター名] [場所] [連絡先]
プロジェクターの基本情報を入力します。
- (2) [DHCP] [手動]
DHCP サーバーを利用する場合は [DHCP] を選択します。
[IP アドレス] [サブネットマスク] [ゲートウェイ] [DNS]
DHCP サーバーを利用しない場合は、[手動] を選択し、[IP アドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイ]、[DNS] を入力します。
- (3) [Crestron コントロールシステムデバイス]
Crestron RoomView を使用する場合は [IP アドレス]、[デバイス ID]、[ポート] を入力します。

お願い

- セキュリティ対策のため、「場所」、「連絡先」欄には個人または場所を特定できる情報は入力しないでください。

[LAN] について (つづき)

■ [プロジェクターの状態と管理] ページ

プロジェクターの状態を確認したり、映像と音声を調整したりします。

(1) [プロジェクターの状態]

プロジェクターの状態を確認します。
[リフレッシュ] ボタンで表示を更新します。
[電源オン / 電源オフ] ボタンで電源を操作します。
[自動電源オフ(分)] 欄で無信号になってから自動で電源を切るまでの時間を設定します。
[アラート状態] 欄で異常を確認します。

(2) [イメージ制御]

プロジェクターの映像を調整します。
[自動調整] ボタンで映像を最適な位置とサイズに調整します。

(3) [オーディオ管理]

プロジェクターの音声を調整します。

■ [E メールアラート] ページ

E メールアラート情報と SMTP 情報を設定します。入力後、[保存] ボタンを押して保存します。

(1) [E メールアラート]

E メール機能を使用する場合は [有効] を選択します。
E メールで異常を知らせる [宛先 / Cc / 発信元] の E メールアドレスを登録します。
{ 半角で 40 (15 + @ + 24) 文字まで }
[件名] には Eメールの発信元がわかりやすいように、プロジェクターの設置場所などを入力できます。(半角で 30 文字まで)

(2) [SMTP 設定]

[送信 SMTP サーバー] (半角で 30 文字まで) を入力します。

(3) [警報条件]

E メールで異常を知らせるときの条件 [ランプ警告 / ランプ寿命通知 / 温度警告] を登録します。(66 ページ)

お知らせ

- 本機の E メール機能は、拡張 SMTP サーバーには対応していません。

■ [パスワード設定] ページ

Web 管理を行う管理者用のパスワードを設定します。

(1) [システム管理者]

パスワードを設定する場合は、[有効] を選択して、[新規パスワード / パスワードの確認] { 半角で 4 文字 (0 ~ 9, A ~ Z, a ~ z) } に入力して [投稿] ボタンを押して登録します。

■ CRESTRON RoomView について

「Crestron RoomView」はネットワークに接続された複数のシステムの様々な機器を、コンピュータで一括して管理・制御する Crestron Electronics, Inc. 製のシステムです。

「Crestron RoomView」の詳細については、Crestron Electronics, Inc. の WEB サイトを参照してください。(英語表示のみとなります。)

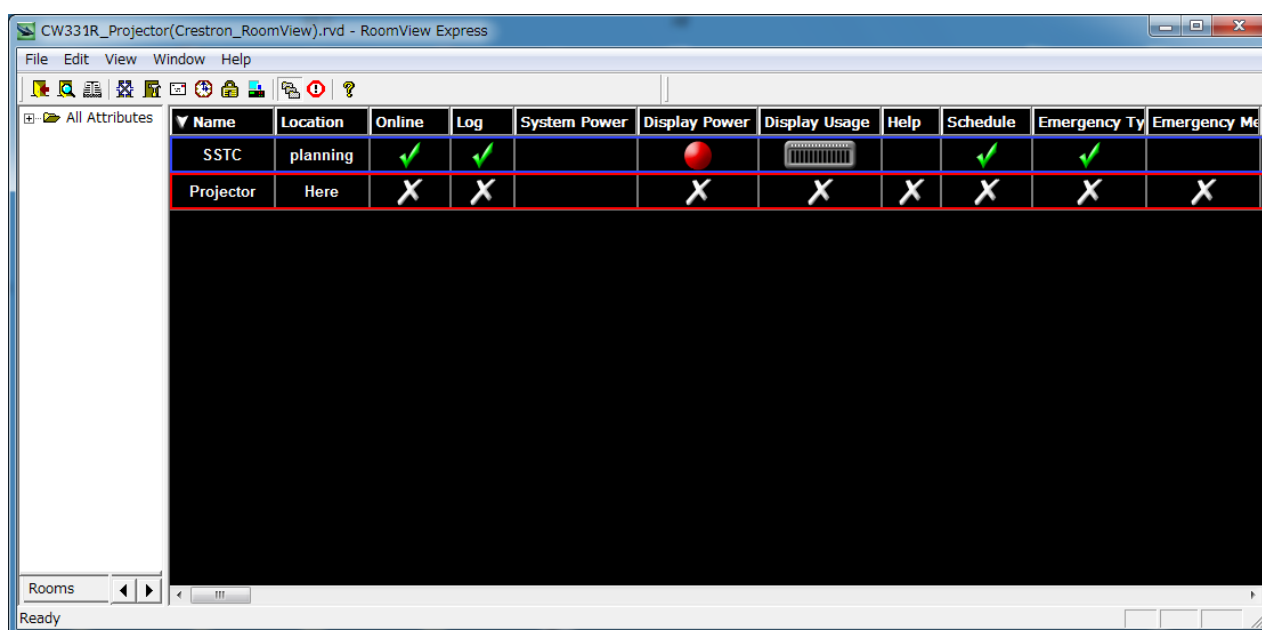
URL <http://www.crestron.com>

また、「RoomView Express」のダウンロードは、Crestron Electronics, Inc. の WEB サイトを参照してください。(英語表示のみとなります。)

URL <http://www.crestron.com/getroomview>

RoomView Express 画面例

- 下図は、ダウンロードした「RoomView Express」インストールして起動したときの画面例です。
- 画面操作の詳細は、「RoomView Express Help File」を参照してください。



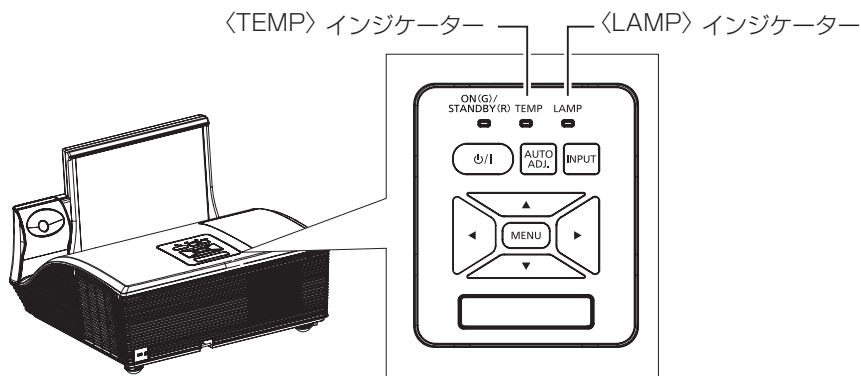
インジケータの表示について

インジケータが点灯したら

本機内部に異常が発生すると、〈TEMP〉インジケータ・〈LAMP〉インジケータが点灯や点滅でお知らせします。インジケータの状態を調べて、次の処置を行ってください。

お願い

- 処置を行う際は、“電源を切る”（☞ 32 ページ）の手順を必ずお守りください。
- 電源の状態は、〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケータで確認してください。（☞ 31 ページ）



■ 〈TEMP〉インジケータ

点灯状況	状態	お調べください	処置方法
赤色点灯	高温になっている	● 吸気口 / 排気口がふさがれていませんか。	● 吸気口 / 排気口をふさいでいるものを取り除いてください。
		● エアフィルターが目詰まりしていませんか。	● エアフィルターのお手入れ、または交換をしてください。（☞ 59 ～ 61 ページ）
		● 気温の高い所で使用していませんか。	● 周囲温度 5℃～40℃* の場所に設置してください。
赤色点滅	ファンが止まっている	● 海拔 1 000 m 以上の場所で使用していませんか。	● 海拔 1 000 m 以上～3 000 m 未満で使用する場合は、[高度]（☞ 48 ページ）を「オン」に設定してください。 ● 海拔 3 000 m 以上の場所では使用しないでください。
		—	● 電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

* 海拔 750 m 未満で使用する場合は温度です。海拔 750 m 以上～1 500 m 未満で使用する場合は、使用環境温度の上限は 5℃低くなります。高地（海拔 1 500 m 以上～3 000 m 未満）で使用する場合は、使用環境温度の上限は 10℃低くなります。

■ 〈LAMP〉インジケータ

点灯状況	状態	お調べください	処置方法
赤色点灯	ランプが点灯しない、または途中不点灯になった	● 電源を切ってからすぐに電源を入れ直していませんか。	● 光源ランプが冷えるまでしばらく待ってから電源を入れてください。
		● ランプユニットの不具合、ランプ電源の異常、またはランプの破損などが発生しています。	● 電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

お知らせ

- 電源を入れ直す場合は、電源プラグをコンセントから抜き、約 30 秒待ってから行ってください。
- 上記の処置をしても〈TEMP〉インジケータが点灯や点滅したり〈LAMP〉インジケータが点灯したりする場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

お手入れ / 部品交換

お手入れ / 部品交換の前に

- 本機のお手入れや部品交換を行う際は、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
( 30、32 ページ)
- 電源を切るときは「電源を切る」( 32 ページ) の手順を必ずお守りください。

お手入れ

■ 外装ケース

汚れやほこりは、やわらかい乾いた布でふき取ってください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコール等の溶剤、または台所用洗剤は使用しないでください。
これらの溶液を使用すると、外装ケースが変質するおそれがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

■ レンズの前面およびミラー

レンズの前面およびミラーに付着したごみやほこりは、清潔なやわらかい布でふき取ってください。

- 毛羽立った布、油分・水分を含んだ布、ほこりの付いた布でふかないでください。
- レンズおよびミラーは傷つきやすい素材のため、強くこすらないでください。

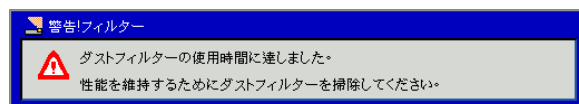
お願い

- レンズおよびミラーは壊れやすい部品です。堅いものを当てたり強くふいたりすると傷つくおそれがあります。取り扱いにはご注意ください。

■ エアフィルター

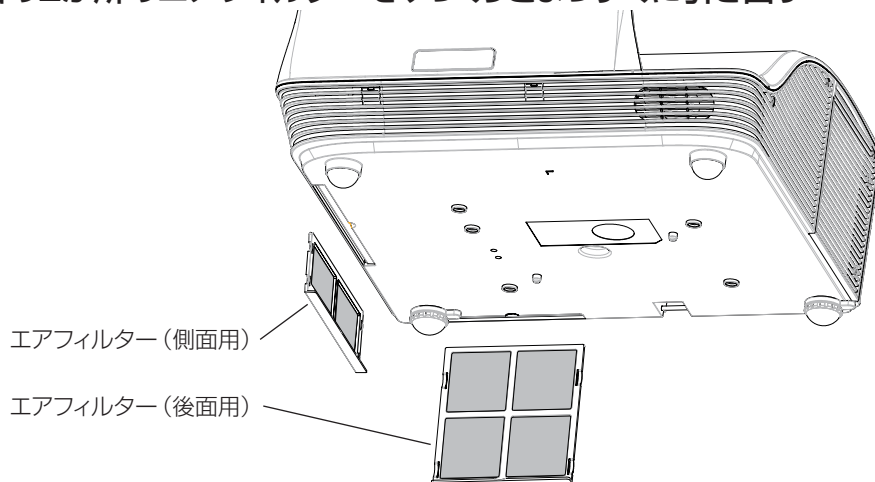
エアフィルターにほこりがたまり過ぎると、本機の内部温度を正常に保てなくなります。次の場合はエアフィルターのお手入れを行ってください。お手入れは約 500 時間を目安に行ってください。

- 画面上にフィルター通知のメッセージが表示された場合。



- 〈TEMP〉インジケーターが点灯し、電源が切れた場合。

- 1) 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く
- 2) 吸気口付近のごみやほこりを取り除く
- 3) 側面と後面の2か所のエアフィルターをゆっくりとまっすぐに引き出す



お手入れ / 部品交換 (つづき)

4) エアフィルターのお手入れをする

- 掃除機などでほこりを吸い取ってください。

5) エアフィルターを取り付ける

- 逆方向には取り付けませんので、取り付け方向に注意して、カチッと音がするまで挿し込みます。

6) [フィルターリマインダー] をリセットする

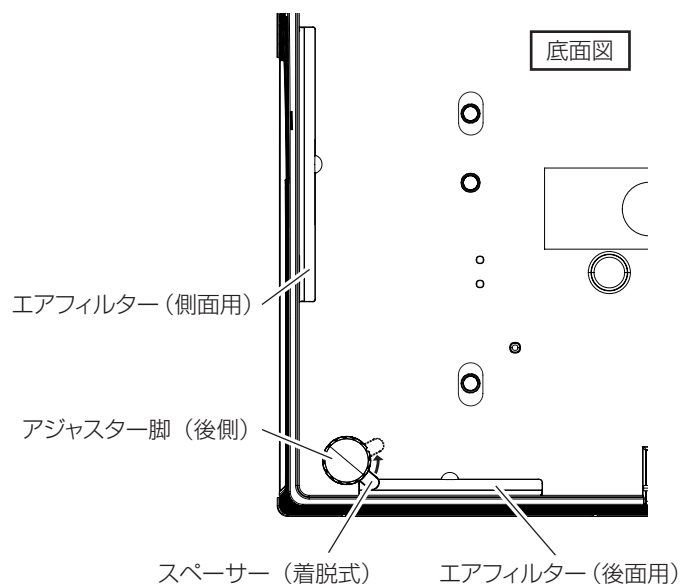
- 電源プラグをコンセントに差し込んで、本機の電源を入れ、[オプション] メニューの [リマインダーの削除] を実行します。(🔍 48 ページ)

お願い

- エアフィルターのお手入れを行う前に、必ず本機の電源をお切りください。
- エアフィルターは必ず正しく取り付けてご使用ください。取り付けずに使用すると、ごみやほこりを吸い込み、故障の原因になります。

お知らせ

- エアフィルターを破損した場合やほこりや汚れが取れなくなった場合は、新しい交換用フィルターに交換してください。
- 使用環境によっては、目詰まりによって 500 時間以内に〈TEMP〉インジケーターが点灯するとともに、警告温度メッセージが表示される場合があります。その場合は、早めにエアフィルターのお手入れを行うようにしてください。
- エアフィルター（後面用）を取り外すときにアジャスター脚の着脱式スペーサーが引っかかる場合は、スペーサーの凸部をつまんで回して引っかからないようにしてください。



部品交換

■ エアフィルター

お手入れをしても、汚れが取れなくなったら交換時期です。

交換用のエアフィルターは別売品です。(サービス部品扱い)

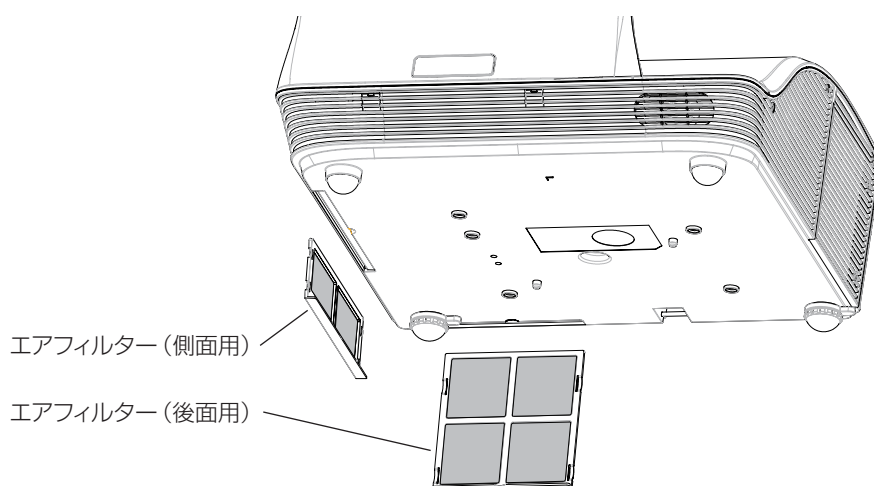
ご購入の際は販売店にご相談ください。

また、ランプユニットの交換の際、あわせてエアフィルターも交換してください。

交換用のランプユニット(品番:ET-LAC300)には、エアフィルター(品番:側面用 H518PE28G011、後面用 H518PE29G011)が付属しています。

■ エアフィルターの交換

- 1) 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く
- 2) 吸気口付近のごみやほこりを取り除く
- 3) 側面と後面の2か所のエアフィルターをゆっくりとまっすぐに引き出す



4) 新しいエアフィルター(交換用エアフィルター)を取り付ける

- 逆方向には取り付けませんので、取り付け方向に注意して、カチッと音がするまで挿し込みます。

5) [フィルターリマインダー]をリセットする

- 電源プラグをコンセントに差し込んで、本機の電源を入れ、[オプション]メニューの[リマインダーの削除]を実行します。(48 ページ)

お願い

- エアフィルターの交換を行う前に、必ず本機の電源をお切りください。
- 取り付けに際しては、必ず本機の安定を確保して、エアフィルターが落下しても安全な場所で実施してください。
- エアフィルターは必ず正しく取り付けてご使用ください。取り付けずに使用すると、ごみやほこりを吸い込み、故障の原因になります。
- 吸気口の穴から物などを差し込まないでください。故障の原因となります。

■ ランプユニット

ランプユニットは消耗部品です。交換時期については、”ランプユニットの交換時期”をご覧ください。
ランプユニットの交換は、専門の技術者に依頼することをお勧めします。または、販売店にご相談ください。
交換用のランプユニット（品番：ET-LAC300）をご購入の際は、販売店にご相談ください。



警告

■ ランプユニットの交換は、ランプが冷えてから（1 時間以上待つ）行う



カバー内部は高温になっているため、やけどの原因になります。

■ ランプユニット交換上のお願い

- 光源ランプはガラス部品ですので、堅い物にぶつけたり、落としたりすると破裂する場合があります。取り扱いには十分ご注意ください。
- ランプユニットの交換にはプラスドライバーが必要です。
- ドライバー使用時は手をすべらせないようにご注意ください。
- ランプユニットを交換する際は、必ずランプユニットの台座部分を持ってください。
- ランプが点灯しなくなった場合や、天井つりしているプロジェクターのランプを交換する場合は、ランプが破損しているおそれがありますので、ランプカバーの真下には立たずに安全な位置で交換してください。ランプカバーはゆっくり外してください。ランプカバーを外すと、ランプのガラス片が落下する可能性があります。万が一吸い込んだり、目や口に入ったりした場合は、直ちに医師にご相談ください。
- ランプには水銀が含まれています。取り外した古いランプユニットを廃棄する場合は、最寄りの市町村窓口、または販売店に正しい廃棄方法をお問い合わせください。

お願い

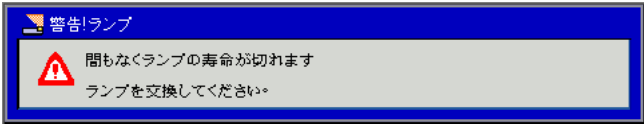
- 必ず、指定のランプユニットを使用してください。

お知らせ

- 付属品や別売品などの品番は、予告なく変更することがあります。

■ ランプユニットの交換時期

ランプユニットは消耗部品です。使用時間の経過にともない、徐々に明るさが低下しますので、定期的な交換が必要です。交換の目安は 3 000 時間ですが、ランプ個々の特性、使用条件、設置環境などの影響を受けて、3 000 時間に達する前に点灯しなくなる場合があります。早めの交換用ランプユニットの準備をお勧めします。また、ランプユニットの交換時期に近づくと、[警告ランプ] メッセージが表示されます。そのような場合は、速やかにランプを交換してください。

ランプ使用時間	オンスクリーン表示：警告ランプ 
2 970 時間以降 *	2 970 時間を過ぎるとメッセージが表示され、ランプ交換しないまま使用すると、電源を入れるたびに表示されます。いずれかのボタンを押すまで、メッセージは表示されたままです。

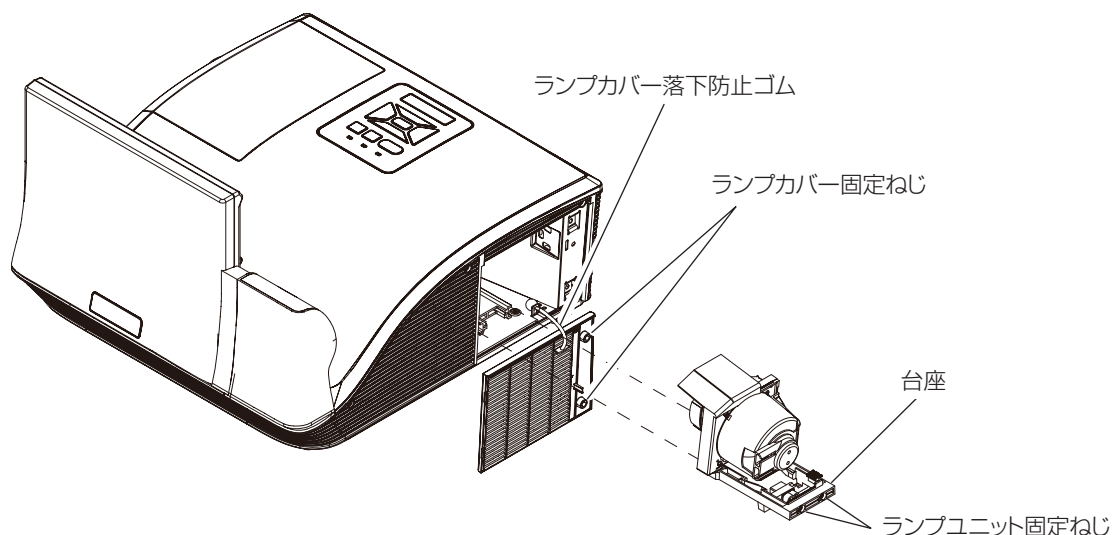
お知らせ

- 3 000 時間は交換の目安であり、保証時間ではありません。保証時間については ”保証とアフターサービス” (P.77 ページ) をご覧ください。
ランプの交換時期を予測するには、以下のような換算が必要になります。[ランプ設定] メニュー (P.47 ページ) に表示されるランプの使用時間をご確認ください。
ランプ使用時間 = [使用されたランプ時間 (標準)] + [使用されたランプ時間 (エコ)] × 3 ÷ 4

■ ランプユニットの交換

お願い

- 本機を天井に取り付けている場合、ランプユニットの近辺で顔を近づけて作業をしないでください。
- ランプユニットやランプカバーは確実に取り付けてください。
- ランプユニットが取り付けにくいときは、ランプをいったん取り外してから入れ直してください。無理に押し込むとコネクター部分が破損する場合があります。



- 1) 「電源を切る」(☞ 32 ページ) の手順に従い本機の電源を切ったあと、コンセントから電源プラグを抜き、1 時間以上待ってランプユニット近辺が冷えていることを確認する
- 2) ランプカバー固定ねじ (2 本) をプラスドライバーで空回りするまで回し、ランプカバー固定ねじをつまんでランプカバーを取り外す
- 3) ランプユニット固定ねじ (2 本) をプラスドライバーで空回りするまで回し、ランプユニットの台座部分を持ち、ゆっくりと本体から引き出す
- 4) 新しいランプユニットを確実に挿入し、ランプユニット固定ねじ (2 本) をプラスドライバーでしっかりと締めつける
- 5) ランプカバーを取り付け、ランプカバー固定ねじ (2 本) をプラスドライバーでしっかりと締めつける
 - ランプカバーを取り付けるとき、ランプカバー落下防止ゴムを本体にはさみ込まないように、ご注意ください。

■ ランプ使用時間のリセット

ランプユニットを交換したら、必ず、[ランプ時間のリセット] でランプ使用時間をリセットしてください。
(☞ 48 ページ)

故障かな !?

もう一度次の点をお調べください。詳しくは、対応するページをご覧ください。

症状	ここをお調べください	ページ
電源が入らない	● 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	—
	● 電源プラグを差し込んでいるコンセントは通電していますか。	—
	● ブレーカーが落ちていませんか。	—
	● 〈ON(G)/STANDBY(R)〉、〈TEMP〉、〈LAMP〉 インジケーターが点灯または点滅していませんか。	31、58
	● ランプカバーが確実に取り付けられていますか。	63
映像がでない	● 映像(出力) 機器との接続は正しく行われていますか。	27 ~ 29
	● 入力切り換えは正しく選択されていますか。	33
	● [明るさ] の調整が最小になっていませんか。	40
	● 本機に接続している外部機器は、正常に動作していますか。	—
	● [AV ミュート] 機能を使用していませんか。	16、36
映像がボヤけている	● レンズのフォーカスは合っていますか。	26
	● 本機とスクリーンとの間の投写距離は適切ですか。	23 ~ 25
	● レンズまたはミラーが汚れていませんか。	59
	● 本機がスクリーンに対して垂直に設置されていますか。	—
色が薄い / 色あいが悪い	● [色の濃さ]、[色合い] は正しく調整されていますか。	41
	● 本機に接続している外部機器は正しく調整されていますか。	—
	● 映像信号ケーブルが切れていませんか。	—
内蔵スピーカーから音がでない	● 入力端子の接続は適切ですか。	27 ~ 29
	● 音量が最小レベルになっていませんか。	46
	● [AV ミュート] 機能を使用していませんか。	16、36
	● 〈AUDIO OUT〉 端子に外部スピーカーを接続していると、内蔵スピーカーから音はでません。	19
	● [消音] 機能を使用していませんか。	36、46
リモコンがはたらかない	● 電池が消耗していませんか。	—
	● 電池の極性は正しくセットされていますか。	20
	● リモコンと本体のリモコン受信部との間に障害物はありませんか。	16
	● リモコン操作有効範囲を超えた場所でリモコンを操作していませんか。	16
	● 蛍光灯などの影響を受けていませんか。	16
	● 本機とリモコンのコントローラー ID が異なっていませんか。	20、45
映像の色がおかしい	● [3D] の設定をオンにしていませんか。	49
[ピクチャー] メニューの調整ができない。	● [3D] の設定をオンにしていませんか。	49

症状	ここをお調べください	ページ																	
映像全体が映らない、スクロールする、または正しく映らない	● コンピューター入力の場合、リモコンまたは本体操作部の〈AUTO ADJ.〉ボタンを押してください。 ● デスクトップ型コンピューターの場合： Windows OS の例 1. [コントロールパネル] → [ディスプレイ] をダブルクリックする。 2. [設定] タブを選択し、[解像度] を UXGA(1600 x 1200) 以下に設定する。 ● ノート型コンピューターの場合： 1. まず上記のように、コンピューターの解像度を設定してください。 2. ご使用のメーカーに対応したボタンを押して、外部に映像が出力されるように正しく設定してください。	—																	
	<table><tr><td>Panasonic ⇨ [Fn]+[F3]</td><td>SAMSUNG ⇨ [Fn]+[F4]</td></tr><tr><td>Gateway ⇨ [Fn]+[F4]</td><td>Acer ⇨ [Fn]+[F5]</td></tr><tr><td>SHARP ⇨ [Fn]+[F5]</td><td>TOSHIBA ⇨ [Fn]+[F5]</td></tr><tr><td>IBM/Lenovo ⇨ [Fn]+[F7]</td><td>LG ⇨ [Fn]+[F7]</td></tr><tr><td>SONY ⇨ [Fn]+[F7]</td><td>EPSON ⇨ [Fn]+[F8]</td></tr><tr><td>Asus ⇨ [Fn]+[F8]</td><td>FUJITSU ⇨ [Fn]+[F10]</td></tr><tr><td>NEC ⇨ [Fn]+[F3]/[F5]</td><td>HP/Compaq ⇨ [Fn]+[F4]/[F5]</td></tr><tr><td>DELL ⇨ [Fn]+[F1]/[F8]</td><td></td></tr><tr><td colspan="2">Apple ⇨ [F7]/[Command]+[F2] または システム環境設定 ⇨ ディスプレイ ⇨ 調整 ⇨ ミラーリング</td></tr></table> ● 解像度の変更で対応できなかったり、モニターが静止したりした場合は、本機を含めて外部機器を再起動してください。	Panasonic ⇨ [Fn]+[F3]	SAMSUNG ⇨ [Fn]+[F4]	Gateway ⇨ [Fn]+[F4]	Acer ⇨ [Fn]+[F5]	SHARP ⇨ [Fn]+[F5]	TOSHIBA ⇨ [Fn]+[F5]	IBM/Lenovo ⇨ [Fn]+[F7]	LG ⇨ [Fn]+[F7]	SONY ⇨ [Fn]+[F7]	EPSON ⇨ [Fn]+[F8]	Asus ⇨ [Fn]+[F8]	FUJITSU ⇨ [Fn]+[F10]	NEC ⇨ [Fn]+[F3]/[F5]	HP/Compaq ⇨ [Fn]+[F4]/[F5]	DELL ⇨ [Fn]+[F1]/[F8]		Apple ⇨ [F7]/[Command]+[F2] または システム環境設定 ⇨ ディスプレイ ⇨ 調整 ⇨ ミラーリング	
Panasonic ⇨ [Fn]+[F3]	SAMSUNG ⇨ [Fn]+[F4]																		
Gateway ⇨ [Fn]+[F4]	Acer ⇨ [Fn]+[F5]																		
SHARP ⇨ [Fn]+[F5]	TOSHIBA ⇨ [Fn]+[F5]																		
IBM/Lenovo ⇨ [Fn]+[F7]	LG ⇨ [Fn]+[F7]																		
SONY ⇨ [Fn]+[F7]	EPSON ⇨ [Fn]+[F8]																		
Asus ⇨ [Fn]+[F8]	FUJITSU ⇨ [Fn]+[F10]																		
NEC ⇨ [Fn]+[F3]/[F5]	HP/Compaq ⇨ [Fn]+[F4]/[F5]																		
DELL ⇨ [Fn]+[F1]/[F8]																			
Apple ⇨ [F7]/[Command]+[F2] または システム環境設定 ⇨ ディスプレイ ⇨ 調整 ⇨ ミラーリング																			
ノート型コンピューターからの映像が映らない	● ノート型コンピューターの外部映像出力が正しく設定されていますか。コンピューターの機種によって異なりますので、コンピューター付属の説明書をご覧ください。	—																	
画像が安定せずちらついて見える	● [位置調整] → [位相] を調整してください。	42																	
画像にちらついた縦線が見える	● [位置調整] → [クロック周波数] を調整してください。 ● コンピューターの出力を本機が対応している信号に変更してください。	42																	
映像ソースによって、画像が引き伸ばされている	● 16：9 映像ソースのとき、[位置調整] → [アスペクト] を [16：9] に設定してください。 ● 4：3 映像ソースのとき、[位置調整] → [アスペクト] を [4：3] に設定してください。 ● 上記の設定を変更しても画像が引き伸ばされている場合は、再生機器側のアスペクトの設定を変更してください。	42																	
画像が小さい、または大きい	● プロジェクターとスクリーンとの距離を調整してください。	23～25																	
	● [位置調整] → [アスペクト] の設定を確認してください。	42																	
画像が反転している	● [位置調整] → [投写方式] の設定を確認してください。	43																	
3D 映像にならない	● [3D] → [3D] の設定が [自動] または [オン] に設定されていますか。 ● [3D] → [3D 映像フォーマット] は適切に設定されていますか。	49																	
3D 映像視聴中に、3D 映像が途切れる	● 3D グラスの電池残量不足ではありませんか。充電式 3D グラスの場合は充電してください。電池式の場合は電池を交換してください。	—																	
プロジェクターが停止し何も反応しない	● 電源プラグをコンセントから抜き、少なくとも 30 秒待って電源プラグをコンセントに接続し、再度電源を入れてみてください。	58																	
ランプ破裂、または破裂音が出た	● ランプの寿命がくると、ランプが破裂し破裂音が発生することがあります。その際は、ランプを交換するまで電源を入れないでください。	—																	

症状	ここをお調べください	ページ
メッセージが表示された	● フィルター通知： [フィルターリマインダー] で設定した時間が経過すると表示されます。エアフィルターのお手入れまたは交換してください。	59
	● 警告ランプ： ランプの寿命に近づく则表示されます。すみやかにランプを交換してください。	62
	● 警告ファンロック： 投写中にファンが止まると表示され、間もなく電源が切れます。電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。	58
	● 警告温度： 内部が高温になると表示され、しばらくすると電源が切れます。表示されている事項を確認してください。	58

お願い

- 表の内容を確認後、正常に動作しない場合は販売店にご相談ください。(📞 77 ページ)

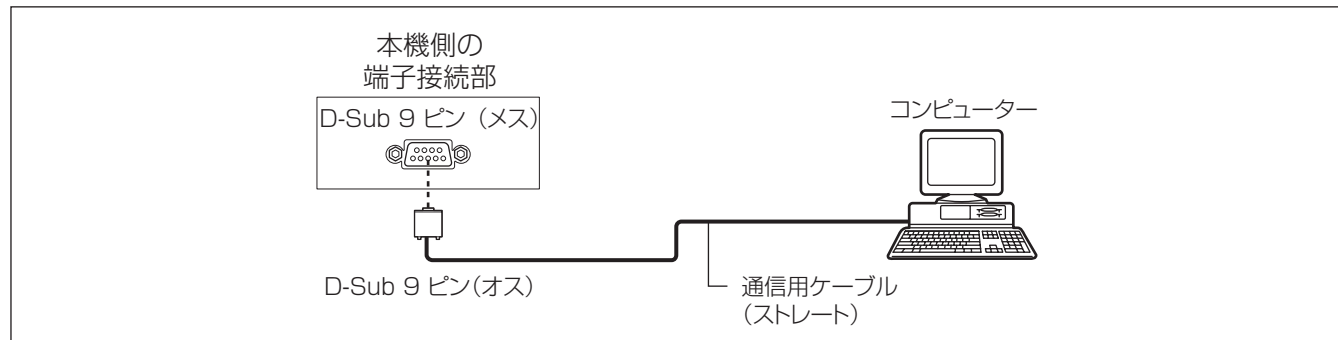
お知らせ

- 受像している信号の種類や画像によっては〈AUTO ADJ.〉を実行しても映像の位置や解像度が正しく表示されない場合があります。正しく表示されない場合は表示映像を変えて再度〈AUTO ADJ.〉を実行してください。

シリアル端子について

本機背面の端子接続部の〈SERIAL IN〉端子は RS-232C に準拠しており、コンピューターと接続して、本機をコンピューターで制御できます。

■ 接続



■ ピン配列と信号名

D-Sub 9 ピン (メス) 外観図	ピン番号	信号名	内容
	①	—	NC
	②	TXD	送信データ
	③	RXD	受信データ
	④	—	NC
	⑤	GND	グラウンド
	⑥	—	NC
	⑦	CTS	内部で接続されています
	⑧	RTS	
	⑨	—	NC

■ 通信条件

信号レベル	RS-232C 準拠	キャラクター長	8 ビット
同期方式	調歩同期	ストップビット	1 ビット
ボーレート	19 200 bps	X パラメーター	なし
パリティ	なし	S パラメーター	なし

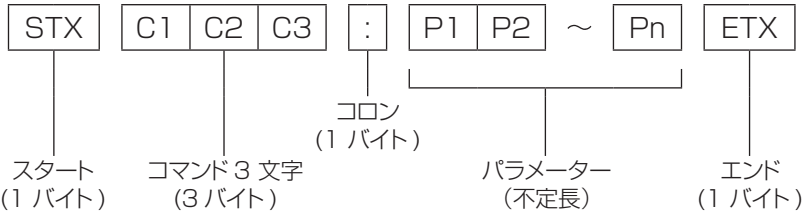
■ ケーブル仕様

〈コンピューターと接続する場合〉

本機	1	NC	NC	1	コンピューター側 (DTE 仕様)
	2			2	
	3			3	
	4	NC	NC	4	
	5			5	
	6	NC	NC	6	
	7			7	
	8			8	
	9	NC	NC	9	

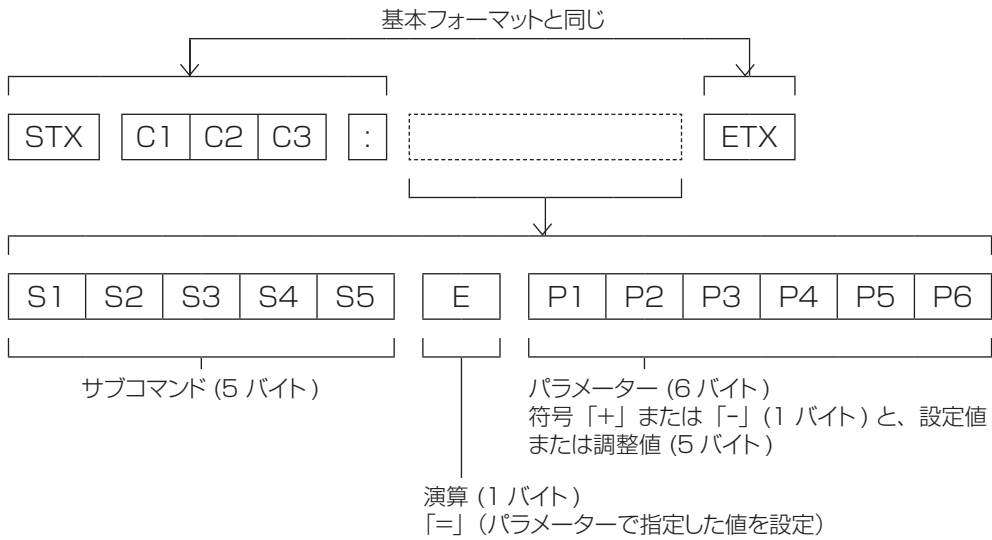
■基本フォーマット

コンピューターからの伝送は STX で始まり、続いて コマンド、パラメーター、最後に ETX の順に送信されます。パラメーターは制御内容に応じて追加してください。



※: パラメーターなしでコマンドを送信する場合は、コロン (:) は不要です。

■基本フォーマット (サブコマンドあり)



※: パラメーター不要のコマンドを送信する場合は、演算 (E) とパラメーターは不要です。

■ 制御コマンド

コンピューターで本機を制御する際のコマンドは下表のとおりです。

[操作コマンド]

コマンド	内容	備考
PON	電源「入」	
POF	電源「切」	
IIS	入力信号切り換え	(パラメーター) VID = ビデオ SVD = S ビデオ RG1 = コンピューター 1 RG2 = コンピューター 2 HD1 = HDMI
OSH	AV ミュート機能	映像と音声を一時的に消します。 コマンドを送信するごとに オン / オフ が切り換わります。 短時間での オン / オフ の切り換えは行わないでください。
AMT	音声ミュート機能	0 = オフ 1 = オン
QPW	電源状態問い合わせ	000 = スタンバイ 001 = 電源「入」
Q\$S	ランプ点灯状態問い合わせ	(コールバック) 0 = スタンバイ 1 = ランプ点灯制御中 2 = ランプ点灯 3 = ランプ消灯制御中

その他の端子について

■ 〈S-VIDEO IN〉 端子のピン配列と信号名

外観図	ピン番号	信号名
	①	GND (輝度信号)
	②	GND (色信号)
	③	輝度信号
	④	色信号

■ 〈COMPUTER 1 IN / COMPUTER 2 IN〉 端子のピン配列と信号名

外観図	ピン番号	信号名
	①	R/P _R
	②	G/G・SYNC/Y
	③	B/P _B
	⑨	+5 V
	⑫	DDC データ
	⑬	HD/SYNC
	⑭	VD
	⑮	DDC クロック

④：なし
⑤ - ⑧、⑩、⑪：GND 端子

■ 〈MONITOR OUT〉 端子のピン配列と信号名

外観図	ピン番号	信号名
	①	R/P _R
	②	G/G・SYNC/Y
	③	B/P _B
	⑬	HD/SYNC
	⑭	VD

④、⑨、⑪、⑫、⑮：なし
⑤ - ⑧、⑩、⑪：GND 端子

■ 〈HDMI IN〉 端子のピン配列と信号名

外観図	ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
	①	T.M.D.S データ 2 +	⑪	T.M.D.S クロック シールド
	②	T.M.D.S データ 2 シールド	⑫	T.M.D.S クロック -
	③	T.M.D.S データ 2 -	⑬	CEC
	④	T.M.D.S データ 1 +	⑭	—
	⑤	T.M.D.S データ 1 シールド	⑮	SCL
	⑥	T.M.D.S データ 1 -	⑯	SDA
	⑦	T.M.D.S データ 0 +	⑰	DDC/CEC GND
	⑧	T.M.D.S データ 0 シールド	⑱	+5V
	⑨	T.M.D.S データ 0 -		ホットプラグ検出
	⑩	T.M.D.S クロック+		

PJLink プロトコルを使用する

本機のネットワーク機能はPJLink クラス1に対応しています。そのためPJLinkプロトコルを使用して、コンピューターからプロジェクターの設定やプロジェクターの状態に関する問い合わせの操作ができます。

■対応コマンド

PJLinkプロトコルで本機を制御する際のコマンドは下表の通りです。

コマンド	制御内容	備考
POWR	電源制御	パラメーター 0 = スタンバイ 1 = 電源「入」
POWR ?	電源状態問い合わせ	パラメーター 0 = スタンバイ 1 = 電源「入」 2 = クーリング中 3 = ウォームアップ中
INPT	入力切り換え	パラメーター
INPT ?	入力切り換え問い合わせ	11 = コンピューター 1 12 = コンピューター 2 21 = ビデオ 22 = Sビデオ 31 = HDMI
AVMT	AVミュート制御	パラメーター
AVMT ?	AVミュート状態問い合わせ	30 = AVミュートモード オフ 31 = AVミュートモード オン
ERST ?	エラー状態問い合わせ	パラメーター 1 バイト目: ファンエラーを意味し、0 ~ 2 のいずれか 2 バイト目: ランプエラーを意味し、0 ~ 2 のいずれか 3 バイト目: 温度エラーを意味し、0 ~ 2 のいずれか 4 バイト目: 0 固定 5 バイト目: フィルターエラーを意味し、0 ~ 2 のいずれか 6 バイト目: その他のエラーを意味し、0 ~ 2 のいずれか 0 ~ 2 の各意味は以下の通り 0 = エラーを検知していない 1 = 警告 2 = エラー
LAMP ?	ランプ状態問い合わせ	パラメーター 1つ目の数字 (1 ~ 5桁) : ランプ使用時間 2つ目の数字: 0 = ランプ 消灯、1 = ランプ 点灯
INST ?	入力切り換え一覧問い合わせ	パラメーターは下記の値を応答します。 『11, 12, 21, 22, 31』
NAME ?	プロジェクター名問い合わせ	[ネットワーク設定] の [プロジェクター名] で設定した名称を応答します。
INF1 ?	メーカー名問い合わせ	『Panasonic』と応答します。
INF2 ?	機種名問い合わせ	『CW331R』または『CX301R』と機種名を応答します。
CLSS ?	クラス情報問い合わせ	『1』と応答します

■PJLink セキュリティー認証

PJLinkを使用するパスワードは、WEB管理で設定したパスワードと同じです。(☞ 56ページ)

認証なしで使用する場合は、WEB管理のパスワードをなしに設定してください。PJLink に関する仕様については (社) ビジネス機械・情報システム産業協会のWEBサイトを参照してください。

PJLink に関する仕様については (社) ビジネス機械・情報システム産業協会のWEBサイトを参照してください。

URL <http://pjlink.jbmia.or.jp/>

対応信号リスト

本機が投写できる映像信号は下表の通りです。

フォーマット：V = VIDEO、S = S-VIDEO、R = RGB、Y = YP_BP_R、H = HDMI

対応信号	解像度 *1 (ドット)	走査周波数		ドットクロック 周波数 (MHz)	フォーマット	プラグアンドプレイ対応 *3	
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)			COMPUTER 1/ COMPUTER 2	HDMI
NTSC/NTSC 4.43/ PAL-M/PAL60	--	15.70	59.9	-	V/S	-	-
PAL/PAL-N/ SECAM	--	15.60	50.0	-	V/S	-	-
525i (480i)	720 x 480i	15.73	59.9	13.50	Y	-	-
	720(1 440) x 480i *2	15.73	59.9	27.00	H	-	o
625i (576i)	720 x 576i	15.63	50.0	13.50	Y	-	-
	720(1 440) x 576i *2	15.63	50.0	27.00	H	-	o
525p (480p)	720 x 483	31.47	59.9	27.00	Y/H	-	o
625p (576p)	720 x 576	31.25	50.0	27.00	Y/H	-	o
750 (720)/60p	1 280 x 720	45.00	60.0	74.25	Y/H	-	o
750 (720)/50p	1 280 x 720	37.50	50.0	74.25	Y/H	-	o
1 125 (1080)/60i	1 920 x 1 080i	33.75	60.0	74.25	Y/H	-	o
1 125 (1080)/50i	1 920 x 1 080i	28.13	50.0	74.25	Y/H	-	o
1 125 (1080)/24p	1 920 x 1 080	27.00	24.0	74.25	Y/H	-	o
1 125 (1080)/60p	1 920 x 1 080	67.50	60.0	148.50	Y/H	-	o
1 125 (1080)/50p	1 920 x 1 080	56.25	50.0	148.50	Y/H	-	o
VGA	640 x 480	31.47	59.9	25.18	R/H	o	o
		35.00	66.7	30.24	R/H	o	o
		37.86	72.8	31.50	R/H	o	o
		37.50	75.0	31.50	R/H	o	o
		43.27	85.0	36.00	R/H	-	-
		61.90	119.5	52.50	R/H	o	o
SVGA	800 x 600	35.16	56.3	36.00	R/H	o	o
		37.88	60.3	40.00	R/H	o	o
		48.08	72.2	50.00	R/H	o	o
		46.88	75.0	49.50	R/H	o	o
		53.67	85.1	56.25	R/H	-	-
XGA	1 024 x 768	77.40	119.9	83.00	R/H	o	o
		49.73	74.6	57.28	R/H	o	o
		48.36	60.0	65.00	R/H	o	o
		56.48	70.1	75.00	R/H	o	o
		60.02	75.0	78.75	R/H	o	o
MAC16	832 x 624	68.68	75.1	100.00	R/H	-	-
SXGA	1 280 x 960	63.98	60.0	108.00	R/H	-	-
		76.97	72.0	133.00	R/H	-	-
		79.98	75.0	135.00	R/H	o	o
		47.72	59.8	84.75	R/H	-	-
1366 x 768	1 366 x 768	47.72	59.8	84.75	R/H	-	-

対応信号	解像度 *1 (ドット)	走査周波数		ドットクロック 周波数 (MHz)	フォーマット	プラグアンドプレイ対応 *3	
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)			COMPUTER 1/ COMPUTER 2	HDMI
SXGA+	1 400 x 1 050	65.32	60.0	121.75	R/H	-	-
WXGA+	1 440 x 900	55.94	59.9	106.50	R/H	-	-
UXGA	1 600 x 1 200	75.00	60.0	162.00	R/H	o	o
WSXGA+	1 680 x 1 050	65.29	60.0	146.25	R/H	o *4	o *4

*1：解像度の末尾にある「i」は、インターレース信号を示します。

*2：480i、576i の HDMI 信号はドットクロックが 27 MHz の信号のみ対応しています。

*3：プラグアンドプレイ対応欄に o がある信号は、プロジェクターの EDID (拡張ディスプレイ識別データ) に記述している信号です。プラグアンドプレイ対応欄に o がない信号でもフォーマット欄に記載があれば入力可能です。プラグアンドプレイ対応欄に o がない信号は、プロジェクターが対応していてもコンピューター側で解像度の選択ができない場合があります。

*4：PT-CW331R のみ対応しています。

3D 対応信号リスト

本機が投写できる 3D 対応の映像信号は下表の通りです。

	3D 対応信号	解像度 *1 (ドット)	フレーム パッキング	サイドバイサイド (ハーフ)	トップアンドボトム	フレーム シーケンシャル	フィールド シーケンシャル
HDMI	750 (720)/60p	1 280 x 720	o	-	o	-	-
	750 (720)/50p	1 280 x 720	o	-	o	-	-
	1 125 (1080)/60 i	1 920 x 1 080 i	-	o	-	-	-
	1 125 (1080)/50 i	1 920 x 1 080 i	-	o	-	-	-
	1 125 (1080)/24p	1 920 x 1 080	o	-	o	-	-
	VGA@120 Hz	640 x 480	-	-	-	o	-
	SVGA@120 Hz	800 x 600	-	-	-	o	-
	XGA@120 Hz	1 024 x 768	-	-	-	o	-
COMPUTER 1/ COMPUTER 2	VGA@120 Hz	640 x 480	-	-	-	o	-
	SVGA@120 Hz	800 x 600	-	-	-	o	-
	XGA@120 Hz	1 024 x 768	-	-	-	o	-
ビデオ / Sビデオ	NTSC	—	-	-	-	o	o

ビデオ、Sビデオはフィールドシーケンシャル方式で記録された DVD ソフト (HQFS) 等に対応しています。

*1：解像度の末尾にある「i」は、インターレース信号を示します。

お知らせ

- PT-CW331R の表示ドット数は 1 280 × 800、PT-CX301R の表示ドット数は 1 024 × 768 です。解像度が異なる信号は、表示ドット数に変換されて表示されます。
- インターレース信号接続時は映像にちらつきが発生することがあります。
- 上記対応信号であっても特殊な方式で映像信号が記録されている場合は表示できないことがあります。
- 受像している信号の種類や画像によっては〈AUTO ADJ.〉を実行しても映像の位置や解像度が正しく表示されない場合があります。正しく表示されない場合は表示映像を変えて再度 〈AUTO ADJ.〉を実行してください。

仕様

品番		PT-CW331R	PT-CX301R
使用電源		AC100 V 50 Hz/60 Hz	
消費電力		340 W	
		スタンバイ時消費電力 ● [LAN(スタンバイ)]/[VGA Out(スタンバイ)]/[スタンバイ時動作(音声)] をすべて [オフ] に設定時: 0.5 W ● [LAN(スタンバイ)]/[VGA Out(スタンバイ)]/[スタンバイ時動作(音声)] のいずれか 1 つ以上を [オン] に設定時: 6.0 W	
DLP チップ	サイズ	0.65 型 (アスペクト比 16:10)	0.55 型 (アスペクト比 4:3)
	表示方式	DLP チップ 1 枚	
	画素数	1 024 000 画素 (1 280 × 800 ドット)	786 432 画素 (1 024 × 768 ドット)
レンズ		固定焦点・マニュアルフォーカス F = 2.6、f = -5.27 mm	
光源ランプ		280 W UHM ランプ	
光出力 *1		3 100 lm	
コントラスト比 *1		8000:1 (全白/全黒) (RGB 信号入力時、ピクチャーモード: ダイナミック、ランプ電源モード: ノーマルに設定時)	
対応走査周波数 *2	ビデオ信号時 (S ビデオ含む)	水平 15.75 kHz/15.63 kHz 垂直 50 Hz/60 Hz	
	RGB 信号時	水平 15 kHz ~ 100 kHz、垂直 24 Hz ~ 120 Hz	
		ドットクロック周波数: 162 MHz 以下	
	YPbPr 信号の場合	[525i(480i)]	水平 15.75 kHz、垂直 60 Hz
		[625i(576i)]	水平 15.63 kHz、垂直 50 Hz
		[525p(480p)]	水平 31.50 kHz、垂直 60 Hz
		[625p(576p)]	水平 31.25 kHz、垂直 50 Hz
		[750(720)/60p]	水平 45.00 kHz、垂直 60 Hz
		[750(720)/50p]	水平 37.50 kHz、垂直 50 Hz
		[1125(1080)/60i]	水平 33.75 kHz、垂直 60 Hz
[1125(1080)/50i]		水平 28.13 kHz、垂直 50 Hz	
[1125(1080)/24p]		水平 27.00 kHz、垂直 24 Hz	
[1125(1080)/60p]		水平 67.50 kHz、垂直 60 Hz	
[1125(1080)/50p]	水平 56.25 kHz、垂直 50 Hz		
HDMI 信号の場合	525i(480i)、625i(576i)、525p(480p)、625p(576p)、750(720)/60p、750(720)/50p、1125(1080)/60i、1125(1080)/50i、1125(1080)/24p、1125(1080)/60p、1125(1080)/50p ● 表示可能解像度: VGA ~ WSXGA+ (ノンインターレース)、VESA CVT-RB 準拠 ● ドットクロック周波数: 25 MHz ~ 162 MHz		
カラー方式		7 方式 (NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL-N/PAL-M/SECAM/PAL60)	
投写画面サイズ		70 ~ 100 型 *3	60 ~ 90 型 *3
画面アスペクト比		16:10	4:3
投写方式		フロント天つり / フロント床置き / リア天つり / リア床置き	
スピーカー		7 cm x 3 cm 1 個	
音声実用最大出力		10 W	

- *1: 工場出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911:2003 データプロジェクタの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については附属書 2 に基づいています。
- *2: 本機で対応している映像信号については、「対応信号リスト」を参照してください。(P.72 ~ 73 ページ)
- *3: ネイティブアスペクト (PT-CW331R の場合は 16:10、PT-CX301R の場合は 4:3) で表示したときの値です。

品番		PT-CW331R	PT-CX301R
接続端子	COMPUTER 1 IN/ COMPUTER 2 IN 端子	2 系統 高密度 D-Sub 15 p (メス) [RGB 信号] 0.7 V [p-p] 75 Ω (SYNC ON GREEN 時 1.0 V [p-p] 75 Ω) HD/SYNC TTL ハイインピーダンス 正 / 負極性自動対応 VD TTL ハイインピーダンス 正 / 負極性自動対応 (SYNC/HD、VD は 3 値 SYNC に対応していません。) [YPbPr 信号] Y:1.0 V [p-p] 同期信号を含む、PbPr:0.7 V [p-p] 75 Ω	
	MONITOR OUT 端子	1 系統 高密度 D-Sub 15 p (メス) [RGB 信号] 0.7 V [p-p] 75 Ω (SYNC ON GREEN 時 1.0 V [p-p] 75 Ω) HD/SYNC TTL ハイインピーダンス VD TTL ハイインピーダンス [YPbPr 信号] Y:1.0 V [p-p] 同期信号を含む、PbPr:0.7 V [p-p] 75 Ω	
	VIDEO 入力端子	1 系統 ピンジャック 1.0 V [p-p] 75 Ω	
	S-VIDEO 入力端子	1 系統 Mini DIN 4 p Y 1.0 V [p-p]、C 0.286 V [p-p] 75 Ω	
	HDMI 入力端子	1 系統 HDMI 19 ピン (HDCP、Deep color 対応)	
	AUDIO 入力端子	2 系統 M3 ステレオミニジャック 0.5 V [rms]、入力インピーダンス 22 k Ω 以上 2 系統 ピンジャック × 2 (L-R) 0.5 V [rms]、入力インピーダンス 22 k Ω 以上	
	AUDIO 出力端子	1 系統 M3 ステレオミニジャック (モニター出力、ステレオ対応可) 0 V [rms] ~ 2.0 V [rms] (可変)、出力インピーダンス 2.2 k Ω 以下	
	SERIAL IN 端子	1 系統 D-sub 9 p (メス) RS-232C 準拠 外部制御用	
	LAN 端子	1 系統 RJ-45 ネットワーク接続用、PjLink 対応	
	MINI USB 端子	1 系統 インタラクティブ機能用	
電源コードの長さ		3 m	
外装ケース		樹脂成型品	
外形寸法		横幅: 357 mm 高さ: 250.4 mm (アジャスター脚最小時) 奥行: 367 mm	
質量		約 7.8 kg *4	
騒音値 *5		[ランプ電源モード] を [ノーマル] に設定時 37 dB [ランプ電源モード] を [エコ] に設定時 33 dB	
使用環境条件		使用環境温度: 5 °C ~ 40 °C (海拔 750 m 未満) 5 °C ~ 35 °C (海拔 750 m 以上 ~ 1 500 m 未満) 5 °C ~ 30 °C (海拔 1 500 m 以上 ~ 3 000 m 未満) 使用環境湿度: 20 % ~ 80 % (結露のないこと)	
リモコン	使用電源	DC 3 V (リチウムコイン電池 1 個)	
	操作距離	約 8 m (受信部正面)	
	質量	23 g (電池含む)	
	外形寸法	横幅: 40.6 mm 高さ: 86.5 mm, 奥行: 7.2 mm	

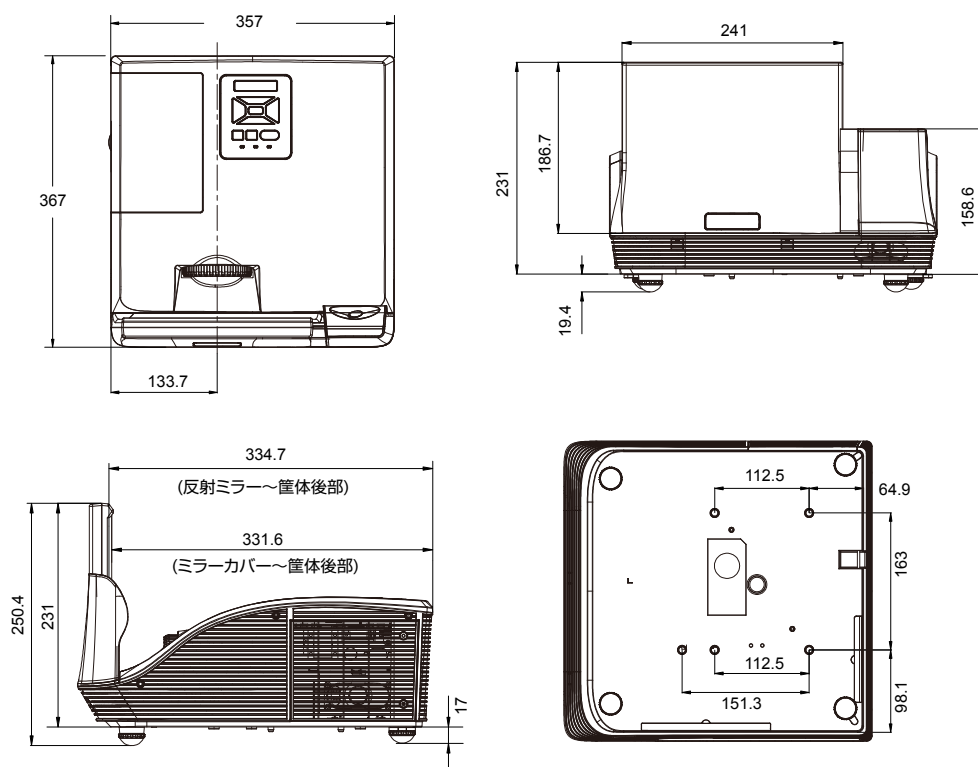
*4: 平均値。製品ごとの質量は異なることがあります。

*5: 工場出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911:2003 データプロジェクタの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については附属書 2 に基づいています。

- 付属品や別売品などの品番は、予告なく変更することがあります。
- 本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

外形寸法図

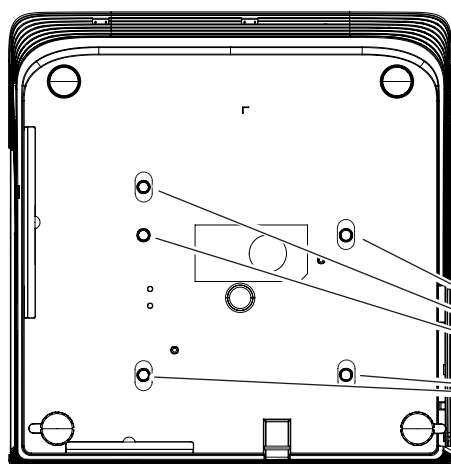
(単位: mm)



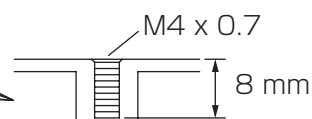
*: 各製品で寸法は異なる場合があります。

天つり金具類取り付け時の注意事項

- 工事は専門技術者にご依頼ください。
- 当社以外の天つり金具類ならびに天つり金具設置環境の不具合による製品の損傷などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。
- ご使用を終了した製品は、工事の専門技術者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。
- ねじ類の締めつけの際は、トルクドライバーを使用してください。電動ドライバー、インパクトドライバーは使用しないでください。
- 詳しくは天つり金具・壁掛取付金具の施工説明書をよくお読みください。
- 付属品や別売り部品などの品番は、予告なく変更することがあります。



天つり金具類品番: ET-PKV100H (高天井用)
 ET-PKV100S (低天井用)
 ET-PKC200B (取付け用ベース金具)
 ET-PKC200W (壁掛取付金具)

ねじの締め付けトルク: $1.2 \pm 0.1 \text{ N}\cdot\text{m}$

故障・修理・お取扱い・メンテナンス

などのご相談は、まず、
お買い上げの販売店
へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（下記、プロジェクターサポートセンター）までご連絡ください。

* 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますのでご了承ください。

保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。内容をよくお読みいただき、大切に保存してください。万一、保証期間内に故障を生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

* ただし、光源ランプは 6 ヶ月またはランプ使用時間 600 時間の早い方となります。

補修用性能部品の保有期間 **8 年**

当社では、プロジェクターの補修用性能部品の、製造打ち切り後、8 年間保有しています。

* 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認ください。お買い上げの販売店までご連絡ください。

■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■ ご連絡いただきたい内容

品名	DLP プロジェクター
品番	PT-CW331R PT-CX301R
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

パナソニック プロジェクターサポートセンター

設定や操作でご不明なことがございましたら
なんなりとお問い合わせください。

お電話の方はこちら **0120-872-601**

受付時間：月～金（祝日と弊社休業日を除く）
9:00～12:00 13:00～17:00

URL : <http://panasonic.biz/projector/>

※お問い合わせ内容によりましては、回答までにお時間をいただく場合もございます。

※お電話の際には、番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用している場合があります。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

数字		お		電源コードを接続する..... 30
3D..... 49		オートセットアップ..... 47		電源を入れる..... 32
3D 安全注意メッセージ..... 50		お手入れ / 部品交換..... 59		電源を切る..... 32
3D 映像フォーマット..... 49		[オプション] について..... 47		電池を入れる、取り出す..... 20, 21
3D 映像を視聴する..... 34		[音声] について..... 46		天つり金具類取り付け時の 注意事項..... 76
3D 視聴に関するお願い..... 50		か		と
3D 対応信号リスト..... 73		外形寸法図..... 76		投写関係..... 23
[3D] について..... 49		各部の名称とはたらき..... 17		投写距離..... 24
3D 反転..... 49		壁の色..... 40		投写する映像を選択する..... 33
1080p@24..... 50		カラスペース..... 41		投写方式..... 22, 43
アルファベット		ガンマ..... 41		に
C		く		入力..... 47
CD-ROM..... 15		クローズドキャプション..... 44		入力信号を切り換える..... 35
D		クロック周波数..... 42		ね
DNS..... 51		け		ネットワーク接続..... 53
I		ゲートウェイ..... 51		は
IP アドレス..... 51		言語..... 44		廃棄について..... 12
L		こ		ひ
LAMP インジケータ..... 58		高度..... 48		[ピクチャー] について..... 40
[LAN] について..... 51		故障かな!?..... 64		ピクチャーモード..... 40
LAN (スタンバイ)..... 44		ご使用になる前に..... 11		ふ
O		コントラスト..... 40		フィルター通知..... 48
ON(G)/STANDBY(R) インジケータ..... 31		コントローラ ID..... 20, 45		フォーカスの調整..... 26
P		コンピューターとの接続例..... 28		付属品の確認..... 14
PJLink..... 71		コンピューターのネットワーク設定..... 54		部品交換..... 61
R		さ		へ
RoomView..... 57		サブネットマスク..... 51		別売品..... 15
T		し		ほ
TEMP インジケータ..... 58		自動ソース..... 47		保証とアフターサービス..... 77
V		自動電源オフ (分)..... 47		保存..... 52
VGA Out (スタンバイ)..... 44		シャープネス..... 40		ボリューム..... 46
W		仕様..... 74		本機の運搬について..... 11
WEB ブラウザーで操作する..... 54		消音..... 46		本機の設置について..... 11
かな		情報..... 48		本機の取り扱いについて..... 12
あ		シリアル端子..... 67		本体..... 17
明るさ..... 40		す		本体操作部..... 18
アジャスター脚の調整..... 26		垂直位置..... 42		め
アスペクト..... 42		垂直キーストーン..... 43		メニュー位置..... 44
安全上のご注意..... 6		水平位置..... 42		メニュー画面の操作方法..... 37
い		スタートアップロゴ..... 45		メニューツリー..... 38
位相..... 42		スタンバイ時動作 (音声)..... 46		ら
[位置調整] について..... 42		せ		ランプ設定..... 47
色合い..... 41		セキュリティ..... 12		ランプユニット..... 61
色温度..... 41		接続端子部..... 19		ランプユニットの交換..... 63
色の濃さ..... 41		設置オプションについて (別売品)..... 22		り
インジケータが点灯したら..... 58		設置する..... 22		リセット..... 45, 52
インタラクティブ機能について..... 15		[設定] について..... 44		リモコン..... 16
インタラクティブペンの使い方..... 21		そ		リモコンで操作する..... 35
え		その他の端子..... 70		
エアフィルター..... 59		た		
映像機器との接続例..... 29		対応信号リスト..... 72		
		台形補正..... 35		
		ダイナミックブラック..... 48		
		て		
		デジタルズーム..... 42		
		テストパターン..... 44		

■ ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



これらのシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で正しい廃棄方法をお問い合わせください。



パナソニック株式会社 AVC ネットワークス社

〒 571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 電話 ☎ 0120-872-601